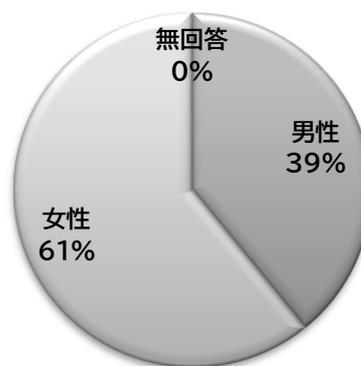


II 調査結果の集計及び分析

1 回答者の属性について（問1～問3）

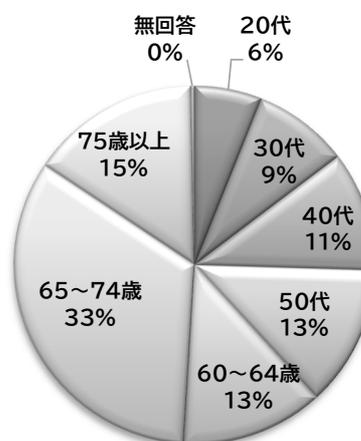
問1 あなたの性別は、次のうちどれですか。

性別	件数
男性	123
女性	191
無回答	0
合計	314



問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。

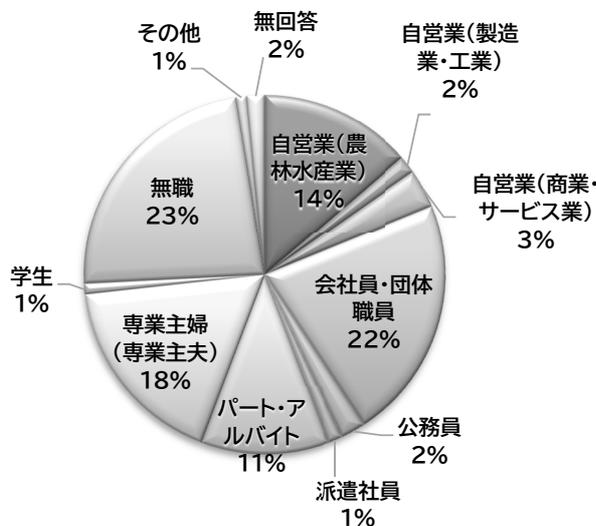
年齢	件数
20代	19
30代	27
40代	34
50代	40
60～64歳	40
65～74歳	105
75歳以上	48
無回答	1
合計	314



回答者の約5割は高齢者である。

問3 あなたの職業は、次のうちどれにあてはまりますか。（2つ以上の職業をお持ちの方は最も収入の多いものを1つ選んでください。）

職業	件数
自営業（農林水産業）	43
自営業（製造業・工業）	5
自営業（商業・サービス業）	11
会社員・団体職員	69
公務員	7
派遣社員	4
パート・アルバイト	36
専業主婦（専業主夫）	55
学生	3
無職	73
その他	3
無回答	5
合計	314

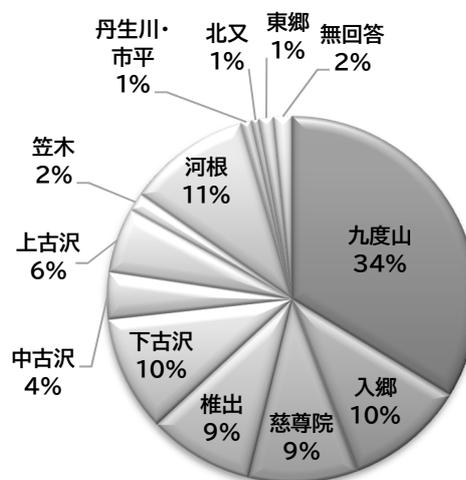


「無職」が最も多く（23.2%）、次いで「会社員・団体職員」（22.0%）、「専業主婦（専業主夫）」（17.5%）の順である。

2 居住地・期間・理由について（問4～問6）

問4 あなたのお住まいは、次の大字のうちどちらですか。

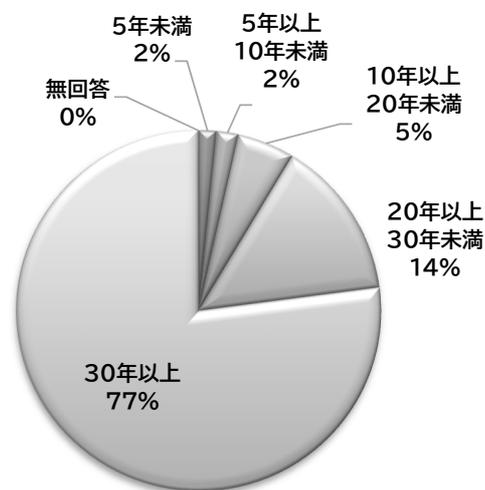
居住地	件数
九度山	106
入郷	33
慈尊院	30
椎出	29
下古沢	32
中古沢	13
上古沢	18
笠木	5
河根	34
丹生川・市平	3
北又	2
東郷	4
無回答	5
合計	314



九度山、入郷、慈尊院で過半数を占める（53.8%）。

問5 あなたは、九度山町に何年くらいお住まいですか。（一時期、九度山町を離れたことのある方は、前後を通算し合計年数をお答えください。）

居住期間	件数
5年未満	5
5年以上 10年未満	6
10年以上 20年未満	16
20年以上 30年未満	45
30年以上	242
無回答	0
合計	314



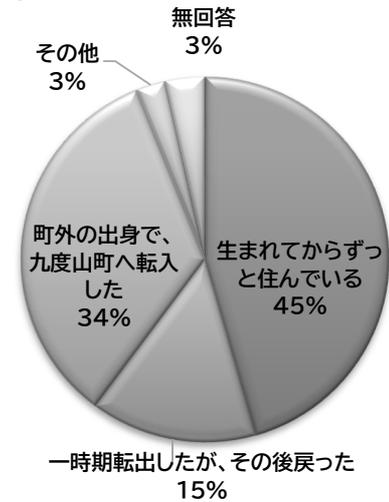
「30年以上」が最も多く77.1%、次いで「20年以上 30年未満」が14.3%であり、大半の住民が長期間にわたり九度山町に住んでいる。

問6 九度山町への居住理由

「あなたが九度山町民になったのは、次のどのような理由ですか。（回答は1つ）」

居住理由	件数
生まれてからずっと住んでいる	143
一時期転出したが、その後戻った	46
町外の出身で、九度山町へ転入した	106
その他	8
無回答	11
合計	314

出身地の内容は、九度山町の出身者が60.2%、九度山町以外が36.3%である。



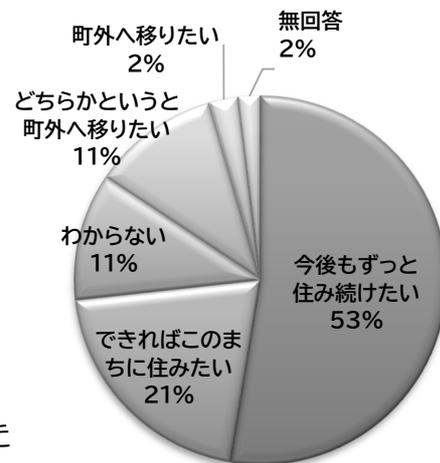
3 定住意向について（問7-1～問7-3）

問7-1 九度山町への今後の居住希望

「あなたは、今後も九度山町に住み続けたいですか。（回答は1つ）」

居留意向	件数
今後もずっと住み続けたい	165
できればこのまちに住みたい	65
わからない	35
どちらかという町外へ移りたい	35
町外へ移りたい	8
無回答	6
合計	314

「町外へ移りたい」、「どちらかという町外へ移りたい」と答えた人は43人で、全体の13.7%であった。



以下に、町外へ移りたい（「どちらかという町外へ移りたい」も含む）人についての分析を示す。

【性別比較】

	男性	女性	合計
件数	17	26	43
比率（%）	13.8	13.6	13.7

性別による大きな違いは見られない。

【年齢比較】

	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65~74歳	75歳以上	合計
件数	8	6	7	9	6	5	2	43
比率（%）	42.1	22.2	20.6	22.5	15.0	4.8	4.2	13.7

年齢が若いほど町外へ移りたいという人の割合が高い。特に、20代では4割を超えている。

【居住地区比較】

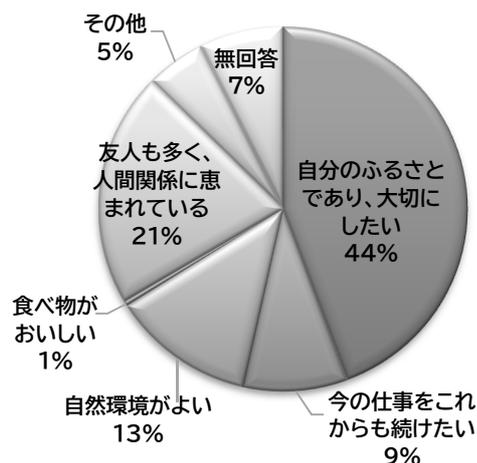
	九度山・入郷・慈尊院	左記以外の地区	不明	合計
件数	20	21	2	43
比率 (%)	11.8	15.0	—	13.7

中心部と周辺部に差はない。

問7-2 住み続けたい理由 (回答は1つ)

住み続けたい理由	件数
自分のふるさとであり、大切にしたい	102
今の仕事をこれからも続けたい	21
自然環境がよい	29
食べ物がおいしい	1
友人も多く、人間関係に恵まれている	48
その他	12
無回答	17
合計	230

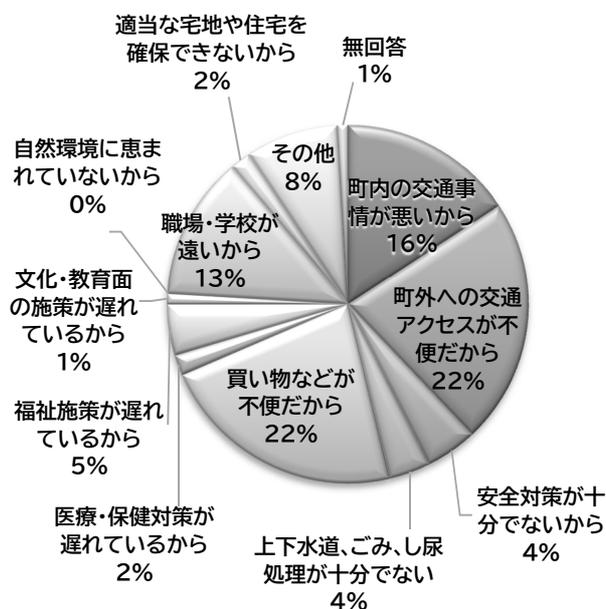
「自分のふるさとである」が最も多く過半数近くを占める (44.3%)。次いで「友人も多く、人間関係に恵まれている」(20.9%)という理由があげられている。



問7-3 他へ移りたい主な理由 (回答は3つまで)

他へ移りたい主な理由	件数
町内の交通事情が悪いから	17
町外への交通アクセスが不便だから	24
安全対策が十分でないから	5
上下水道、ごみ、し尿処理が十分でない	4
買い物などが不便だから	24
医療・保健対策が遅れているから	2
福祉施策が遅れているから	5
文化・教育面の施策が遅れているから	1
自然環境に恵まれていないから	0
職場・学校が遠いから	14
適当な宅地や住宅を確保できないから	2
その他	9
無回答	1
計	43

「町外への交通アクセスが不便だから」と「買い物などが不便」が (55.8%) と最も多く。次いで「町内の交通事情が悪いから」(39.5%)、「職場・学校が遠いから」(32.6%) の順である。



===回答者の属性と定住意向について===

■回答者の属性

アンケート回答者314人のうち、年齢別には60歳以上が61%（193人）を占め、前回調査時の45%より16ポイント多い。

居住期間は、30年以上が77.1%と8割近くを占め、「20年以上30年未満」の人を合わせると91%であり、9割の人が20年以上九度山町に居住していることがわかる。

居住理由については、「生まれてからずっと九度山町居住」が45.5%（143人）と最も多く、「町出身で一時転出後地元に戻った」46人を加えると60.2%となり、6割の人が地元出身者である。

なお、前回調査時の出身者63.4%と比較して3.2ポイント少なくなっている。

■定住意向

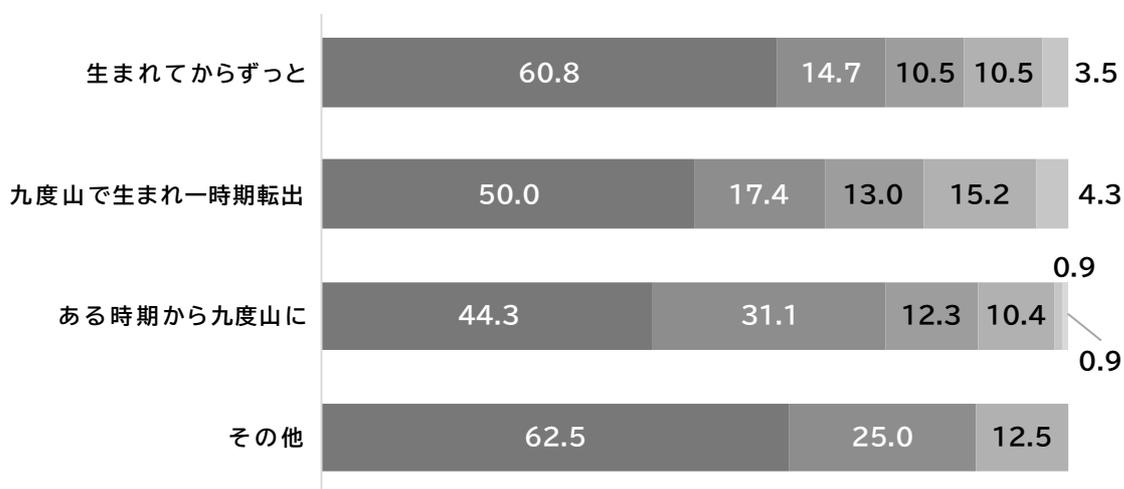
今後の定住意向については、「今後もずっと住み続けたい」が52.5%（165人）と最も多く、「できれば住みたい」20.7%（65人）を加えると、今後とも定住を希望する人は73.2%となり、7割強の人が九度山町での生活を希望していることがうかがえる。

住み続けたい理由としては、「自分のふるさとであり、大切にしたい」が4割強を占める。

一方、町外への移住については13.7%（43人）が望んでおり、移住希望理由で最も多かったのは、「町外への交通アクセスが不便」「買い物などが不便」がそれぞれ55.8%、続いて「町内の交通事情が悪い」が39.5%を占める。また、「その他」を選択した8人については、「地域に人がいなくなる不安がある」「子どもが少なく、集団生活を学べるか心配」という意見や「若者には住みにくい」「現役世代への施策がない」という意見などが見られた。

【定住意向×居住理由】

	件数					比率 (%)				
	生まれてからずっと	九度山で生まれ一時期転出	ある時期から九度山に	その他	無回答	生まれてからずっと	九度山で生まれ一時期転出	ある時期から九度山に	その他	無回答
ずっと住みたい	87	23	47	5	3	60.8%	50.0%	44.3%	62.5%	27.3%
できれば住みたい	21	8	33	2	1	14.7%	17.4%	31.1%	25.0%	9.1%
わからない	15	6	13	0	1	10.5%	13.0%	12.3%	—	9.1%
どちらかという町外	15	7	11	1	1	10.5%	15.2%	10.4%	12.5%	9.1%
町外へ移りたい	5	2	1	0	0	3.5%	4.3%	0.9%	—	—
無回答	0	0	1	0	5	—	—	0.9%	—	45.5%
合計	143	46	106	8	11	100%	100%	100%	100%	100%



■ずっと住みたい ■できれば住みたい ■わからない ■どちらかという町外へ ■町外へ移りたい ■無回答

4 行政施策の満足度と重要度について（問8-1～問8-2）

問8-1 以下の項目について、満足度と重要度をお答えください。回答例にならって、現在の「満足度」と、これからの取り組みを進めていくうえでの「重要度」について、今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選んで○印を付けてください。

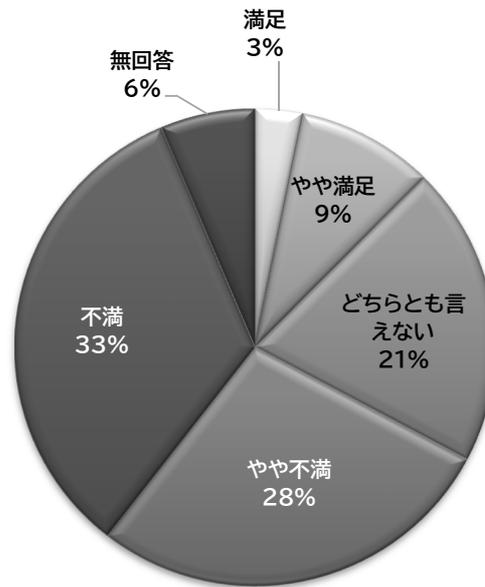
問8-1 行政施策の満足度

区分	No.	項目	行政施策の満足度（％）						
			満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	無回答	
基盤整備	1	道路の整備	8.3	25.5	21.7	23.6	2	16.6	4.5
	2	バス・鉄道等の公共交通機関の充実	3.2	9.2	20.4	27.7	1	33.1	6.4
	3	上水道の整備	39.2	27.7	22.6	2.9		3.5	4.1
	4	下水道の整備	29.0	22.0	24.2	8.3	4	12.4	4.1
	5	し尿やゴミの収集処理	20.4	36.3	20.1	13.1		6.7	3.5
	6	住宅対策	5.7	10.8	56.1	11.1		9.2	7.0
	7	公園や子どもの遊び場の整備	4.5	15.9	46.2	16.9	5	11.1	5.4
	8	まちなみや周囲の風景（景観）	10.8	26.1	40.1	13.4		4.5	5.1
福祉・医療	9	福祉施設	6.1	20.4	44.6	16.9		5.7	6.4
	10	高齢者福祉サービス	5.4	22.0	47.1	14.3		5.7	5.4
	11	障害者福祉サービス	3.8	13.7	60.2	10.8		5.1	6.4
	12	病院・医療施設の充実	7.6	25.2	29.6	22.0		10.5	5.1
	13	休日や夜間等の救急医療	2.2	18.8	36.0	24.5	3	13.1	5.4
	14	健康づくり（検診等）	12.1	32.2	41.4	7.6		1.9	4.8
	15	子育て支援	6.4	15.3	57.3	8.6		3.8	8.6
暮らし	16	交通安全の取り組み	5.1	17.5	59.6	7.6		3.5	6.7
	17	防犯対策	4.1	14.3	57.0	12.1		6.1	6.4
	18	消防・防災対策	8.0	24.5	47.1	8.3		5.7	6.4
	19	環境保全対策	3.2	14.3	61.8	7.6		5.1	8.0
	20	地域活動・ボランティア活動への支援	3.8	17.8	61.5	6.7		2.5	7.6
教育・文化・スポーツ	21	保育園・幼稚園	9.2	19.7	52.2	5.4		5.7	7.6
	22	小中学校教育	8.0	15.6	58.0	6.4		4.1	8.0
	23	生涯学習の振興	4.8	13.1	67.8	4.5		1.6	8.3
	24	文化施設の整備や文化活動の振興	6.7	31.5	46.8	5.4		1.9	7.6
	25	スポーツ施設の整備やスポーツ活動の振興	7.6	28.7	47.5	7.3		2.2	6.7
	26	青少年の健全育成の推進	5.7	20.1	60.5	5.4		0.6	7.6
	27	人権教育の啓発活動の推進	7.3	17.8	61.8	3.5		1.6	8.0
	28	女性への支援（社会進出・活動）	3.5	12.4	65.3	5.7		5.1	8.0
産業振興	29	農林水産業の振興	2.5	15.0	58.9	11.5		3.2	8.9
	30	商工業の振興	1.6	11.8	59.9	12.1		6.7	8.0
	31	観光の振興	7.0	27.1	46.5	8.6		3.8	7.0
行政	32	行政の住民への対応	5.7	22.0	47.1	12.1		6.1	7.0
	33	広報活動	7.3	24.5	50.3	8.3		2.5	7.0
	34	行政への住民参加体制	3.5	16.2	64.3	5.7		2.5	7.6
	35	経費の節減などの行財政改革	3.2	12.1	56.4	10.8		10.2	7.3
	36	以上を総合的にふまえて ふだんの暮らし	4.8	39.5	31.8	13.4		4.5	6.1

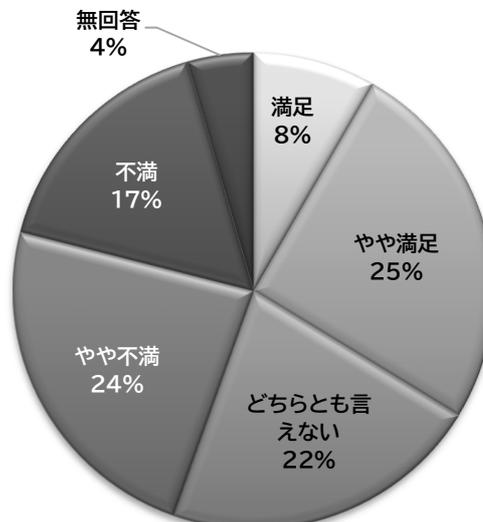
「不満」との回答割合が高かった項目のトップ5は、以下のとおりである。

- 1位「No.2 バス・鉄道等の公共機関の充実について」(33.1%)
- 2位「No.1 道路の整備について」(16.6%)
- 3位「No.13 休日や夜間等の救急医療について」(13.1%)
- 4位「No.4 下水道の整備について」(12.4%)
- 5位「No.7 公園や子どもの遊び場の整備について」(11.1%)

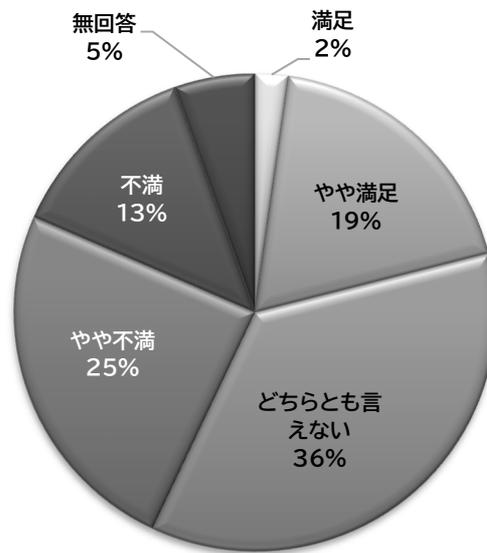
●1位「No.2 バス・鉄道等の公共機関の充実について」(33.1%)



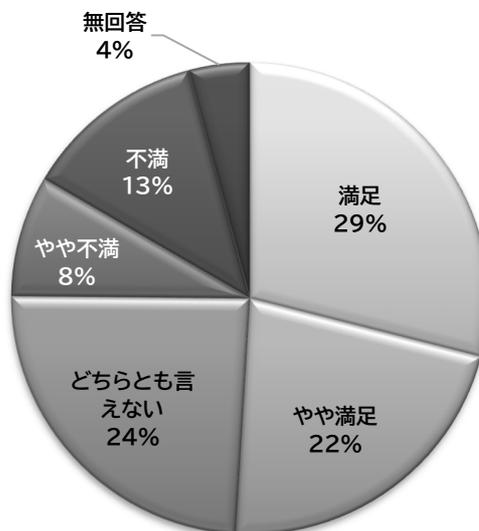
●2位「No.1 道路の整備について」(16.6%)



●3位「No.13 夜間や休日の救急医療について」(13.1%)

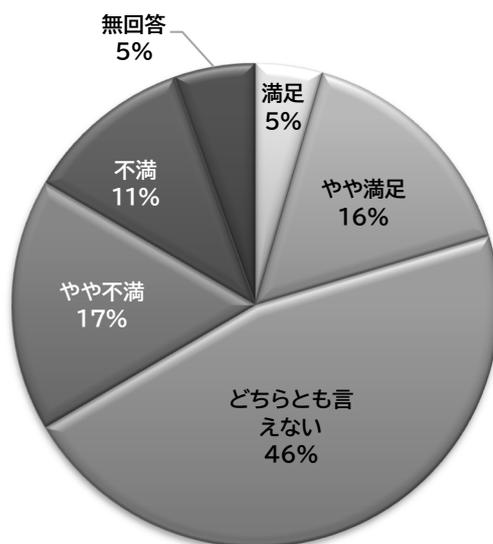


●4位「No.4 下水道の整備について」(12.4%)



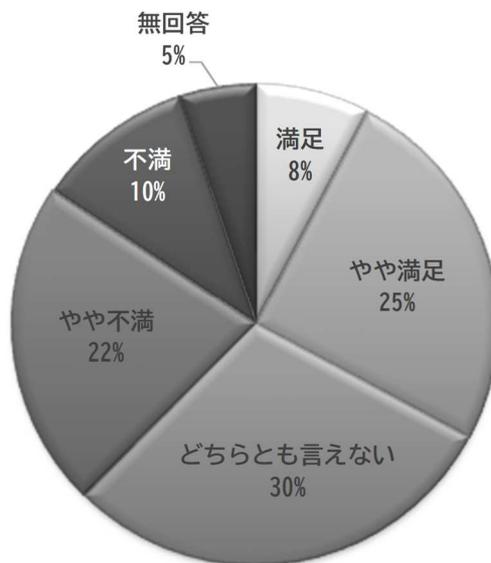
下水道については、上記グラフのとおり「満足」という回答が「不満」を上回っている点が、他の「不満」上位の項目と異なる。

●5位「No.7 公園や子どもの遊び場の整備について」（11.1%）



なお、「不満」に「やや不満」までを加えた構成比を比較すると、不満度（不満+やや不満）のトップ5には、「下水道」に替わり「病院・医療施設の充実」が入る。

●「病院・医療施設の充実について」の結果は、以下のグラフのとおり



【不満度トップ5】

	不満トップ5	比率 (%)	不満+やや不満トップ5	比率 (%)
1	バス・鉄道等の公共交通機関の充実	33.1	バス・鉄道等の公共交通機関の充実	60.8
2	道路の整備	16.6	道路の整備	40.1
3	休日や夜間等の救急医療	13.1	休日や夜間等の救急医療	37.6
4	下水道の整備	12.4	病院・医療施設の充実	32.5
5	公園や子どもの遊び場の整備	11.1	公園や子どもの遊び場の整備	28.0

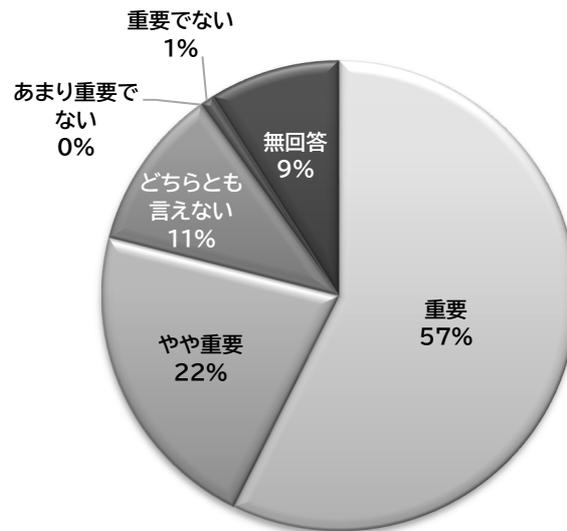
問8-1 行政施策の重要度

区分	No.	項目	行政施策の重要度 (%)					
			重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答
基盤整備	1	道路の整備	50.3	27.7	10.2	1.3	0.6	9.9
	2	バス・鉄道等の公共交通機関の充実	51.0	26.8	10.2	2.5	1.3	8.3
	3	上水道の整備	54.5	18.8	13.7	2.5	1.6	8.9
	4	下水道の整備	52.9	21.0	15.9	1.0	0.3	8.9
	5	し尿やゴミの収集処理	53.8	23.6	11.8	1.6	0.6	8.6
	6	住宅対策	30.9	23.6	31.8	2.9	0.6	10.2
	7	公園や子どもの遊び場の整備	24.8	30.9	29.6	3.2	1.3	10.2
	8	まちなみや周囲の風景(景観)	23.9	31.8	29.6	1.6	2.9	10.2
福祉・医療	9	福祉施設	39.8	26.8	22.0	0.6	0.3	10.5
	10	高齢者福祉サービス	46.2	24.2	18.5	1.0	0.3	9.9
	11	障害者福祉サービス	39.5	21.3	27.7	0.0	0.3	11.1
	12	病院・医療施設の充実	55.1	24.5	9.9	0.3	1.0	9.2
	13	休日や夜間等の救急医療	57.3	21.7	11.1	0.0	1.0	8.9
	14	健康づくり(検診等)	40.1	27.7	20.4	1.3	0.0	10.5
	15	子育て支援	37.6	22.3	27.7	0.6	0.3	11.5
暮らし	16	交通安全の取り組み	32.2	22.6	33.8	1.0	1.0	9.6
	17	防犯対策	40.4	23.6	24.8	1.3	0.6	9.2
	18	消防・防災対策	48.4	23.2	18.8	0.0	0.0	9.6
	19	環境保全対策	32.5	26.4	30.9	0.3	0.3	9.6
	20	地域活動・ボランティア活動への支援	20.1	29.3	37.9	2.5	0.6	9.6
教育・文化・スポーツ	21	保育園・幼稚園	37.3	22.0	29.9	0.6	0.3	9.9
	22	小中学校教育	41.4	18.8	29.0	0.6	0.0	10.2
	23	生涯学習の振興	22.3	26.1	39.8	1.3	0.3	10.2
	24	文化施設の整備や文化活動の振興	18.8	30.3	36.0	2.2	0.6	12.1
	25	スポーツ施設の整備やスポーツ活動の振興	19.1	29.3	37.6	1.9	0.6	11.5
	26	青少年の健全育成の推進	28.0	22.3	36.0	1.3	0.3	12.1
	27	人権教育の啓発活動の推進	21.0	22.0	41.7	2.5	1.3	11.5
	28	女性への支援(社会進出・活動)	23.6	26.4	34.7	2.5	0.6	12.1
産業振興	29	農林水産業の振興	28.3	25.5	33.1	0.3	0.0	12.7
	30	商工業の振興	29.3	25.5	31.2	1.0	0.0	13.1
	31	観光の振興	33.4	26.8	25.2	1.3	1.3	12.1
行政	32	行政の住民への対応	34.7	27.4	25.2	0.3	0.0	12.4
	33	広報活動	26.1	26.4	34.7	0.3	0.6	11.8
	34	行政への住民参加体制	22.9	22.9	41.4	0.6	0.3	11.8
	35	経費の節減などの行財政改革	37.6	22.6	27.4	0.3	0.3	11.8
	36	以上を総合的にふまえてふだんの暮らし	37.9	25.5	20.7	0.6	0.3	15.0

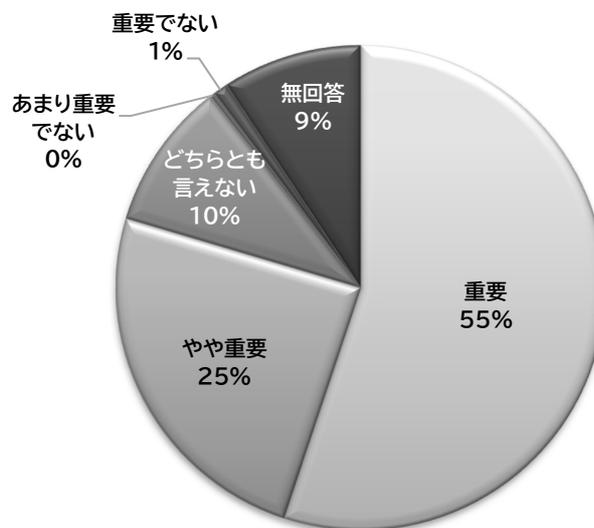
「重要」との回答割合が高かった項目のトップ5は、以下のとおりである。

- 1位「No.13 休日や夜間等の救急医療について」(57.3%)
- 2位「No.12 病院・医療施設の充実について」(55.1%)
- 3位「No.3 上水道の整備について」(54.5%)
- 4位「No.4 し尿やゴミの収集処理について」(53.8%)
- 5位「No.5 下水道の整備について」(52.9%)

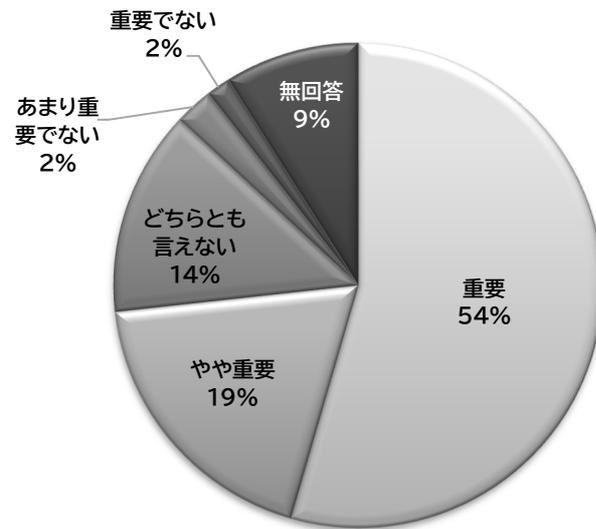
●1位「No.13 休日や夜間等の救急医療について」(57.3%)



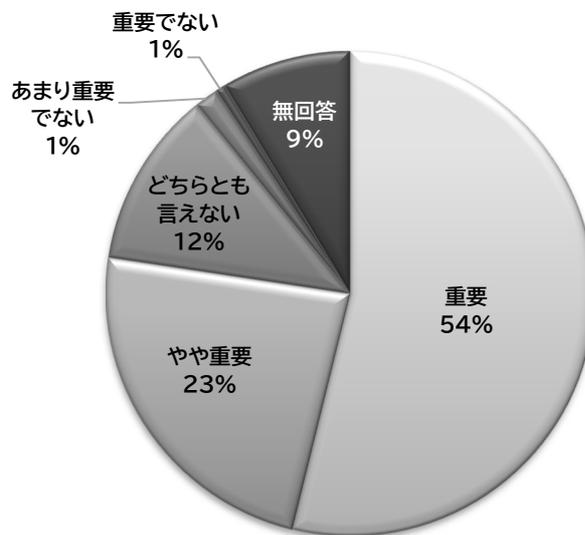
●2位「No.12 病院・医療施設の充実について」(55.1%)



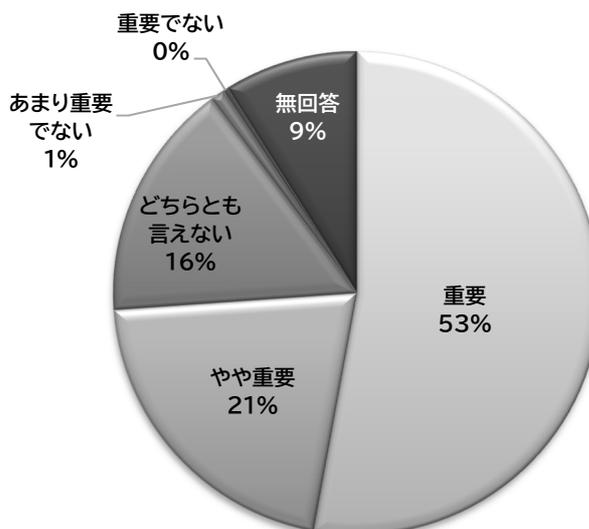
●3位「No.3 上水道の整備について」(54.5%)



●4位「No.4 し尿やゴミの収集処理について」(53.8%)

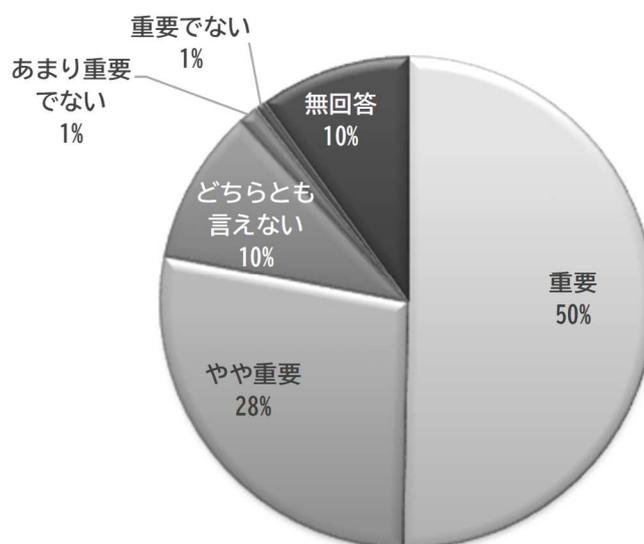


●5位「No.5 下水道の整備について」(52.9%)



なお、「重要」に「やや重要」を加えた構成比を比較すると、重要度（重要・やや重要含む）トップ5には、「上水道の整備」「下水道の整備」に替わり「道路の整備」「バス・鉄道等の公共交通機関の充実」が入る。

●「道路の整備について」の結果は、以下のグラフのとおり



【重要度トップ5】

重要度トップ5	比率(%)	重要+やや重要トップ5	比率(%)
1 休日や夜間等の救急医療	57.3	病院・医療施設の充実	79.6
2 病院・医療施設の充実	55.1	休日や夜間等の救急医療	79.0
3 上水道の整備	54.5	道路の整備	78.0
4 し尿やゴミの収集処理	53.8	バス・鉄道等の公共交通機関の充実	77.7
5 下水道の整備	52.9	し尿やゴミの収集処理	77.4

居住地区別に「下水道満足度」と「し尿処理満足度」について、12地区を次の表のとおり3つの区域に大別して分析すると下の表のようになる。

A	九度山	入郷	慈尊院		
B	椎出	下古沢	中古沢	上古沢	笠木
C	河根	丹生川・市平	北又	東郷	

【問8-1-4 下水道満足度×問4居住地域】

	件数					比率(%)				
	A	B	C	不明	合計	A	B	C	不明	合計
満足	57	25	8	1	91	33.7	25.8	18.6	20.0	29.0
やや満足	43	18	8	0	69	25.4	18.6	18.6	0.0	22.0
どちらとも	37	20	16	3	76	21.9	20.6	37.2	60.0	24.2
やや不満	12	12	2	0	26	7.1	12.4	4.7	0.0	8.3
不満	12	20	6	1	39	7.1	20.6	14.0	20.0	12.4
不明	8	2	3	0	13	4.7	2.1	7.0	0.0	4.1
合計	169	97	43	5	314	100	100	100	100	100

【問8-1-5 し尿処理満足度×問4居住地域】

	件数					比率(%)				
	A	B	C	不明	合計	A	B	C	不明	合計
満足	32	20	8	3	63	18.9	20.6	18.6	60.0	20.1
やや満足	19	16	6	0	41	11.2	16.5	14.0	0.0	13.1
どちらとも	63	32	19	0	114	37.3	33.0	44.2	0.0	36.3
やや不満	10	7	3	1	21	5.9	7.2	7.0	20.0	6.7
不満	39	19	5	1	64	23.1	19.6	11.6	20.0	20.4
不明	6	3	2	0	11	3.6	3.1	4.7	0.0	3.5
合計	169	97	43	5	314	100	100	100	100	100

満足度について、各回答件数ごとに「満足」:5点、「やや満足」:4点、「どちらとも言えない」:3点、「やや不満」:2点、「不満」:1点と評点化するとともに、重要度についても満足度と同様に評点化し、平均点を算出した結果を以下に示す。

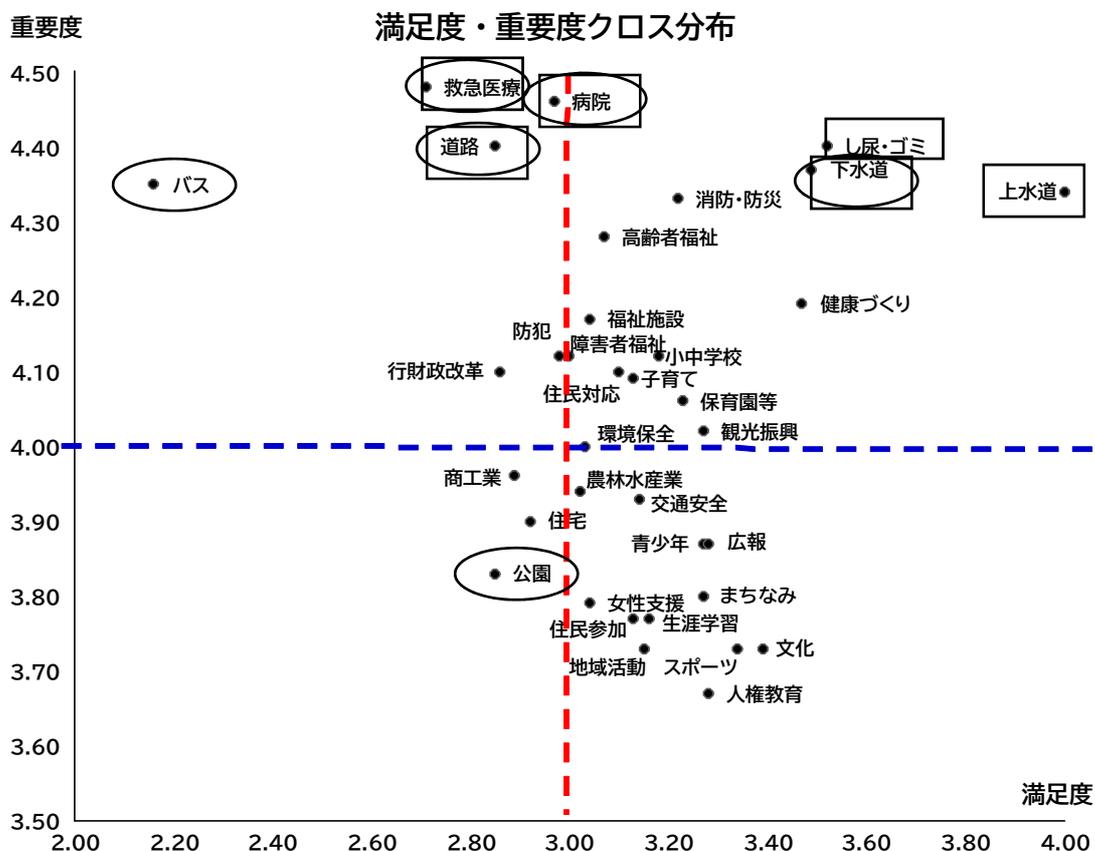
【満足度】

区分	No.	項目	行政施策の満足度（件数）							合計点	平均点
			満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	有効回答	無回答		
基盤整備	1	道路の整備	26	80	68	74	52	300	14	854	2.85
	2	バス・鉄道等の公共交通機関の充実	10	29	64	87	104	294	20	636	2.16
	3	上水道の整備	123	87	71	9	11	301	13	1205	4.00
	4	下水道の整備	91	69	76	26	39	301	13	1050	3.49
	5	し尿やゴミの収集処理	64	114	63	41	21	303	11	1068	3.52
	6	住宅対策	18	34	176	35	29	292	22	853	2.92
	7	公園や子どもの遊び場の整備	14	50	145	53	35	297	17	846	2.85
	8	まちなみや周囲の風景（景観）	34	82	126	42	14	298	16	974	3.27
福祉・医療	9	福祉施設	19	64	140	53	18	294	20	895	3.04
	10	高齢者福祉サービス	17	69	148	45	18	297	17	913	3.07
	11	障害者福祉サービス	12	43	189	34	16	294	20	883	3.00
	12	病院・医療施設の充実	24	79	93	69	33	298	16	886	2.97
	13	休日や夜間等の救急医療	7	59	113	77	41	297	17	805	2.71
	14	健康づくり（検診等）	38	101	130	24	6	299	15	1038	3.47
	15	子育て支援	20	48	180	27	12	287	27	898	3.13
暮らし	16	交通安全の取り組み	16	55	187	24	11	293	21	920	3.14
	17	防犯対策	13	45	179	38	19	294	20	877	2.98
	18	消防・防災対策	25	77	148	26	18	294	20	947	3.22
	19	環境保全対策	10	45	194	24	16	289	25	876	3.03
	20	地域活動・ボランティア活動への支援	12	56	193	21	8	290	24	913	3.15
教育・文化・スポーツ	21	保育園・幼稚園	29	62	164	17	18	290	24	937	3.23
	22	小中学校教育	25	49	182	20	13	289	25	920	3.18
	23	生涯学習の振興	15	41	213	14	5	288	26	911	3.16
	24	文化施設の整備や文化活動の振興	21	99	147	17	6	290	24	982	3.39
	25	スポーツ施設の整備やスポーツ活動の振興	24	90	149	23	7	293	21	980	3.34
	26	青少年の健全育成の推進	18	63	190	17	2	290	24	948	3.27
	27	人権教育の啓発活動の推進	23	56	194	11	5	289	25	948	3.28
	28	女性への支援（社会進出・活動）	11	39	205	18	16	289	25	878	3.04
産業振興	29	農林水産業の振興	8	47	185	36	10	286	28	865	3.02
	30	商工業の振興	5	37	188	38	21	289	25	834	2.89
	31	観光の振興	22	85	146	27	12	292	22	954	3.27
行政	32	行政の住民への対応	18	69	148	38	19	292	22	905	3.10
	33	広報活動	23	77	158	26	8	292	22	957	3.28
	34	行政への住民参加体制	11	51	202	18	8	290	24	909	3.13
	35	経費の節減などの行財政改革	10	38	177	34	32	291	23	833	2.86
	36	以上を総合的にふまえてふだんの暮らし	15	124	100	42	14	295	19	969	3.28

【重要度】

区分	No.	項目	行政施策の重要度（件数）							合計点	平均点
			重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	有効回答	無回答		
基盤整備	1	道路の整備	158	87	32	4	2	283	31	1244	4.40
	2	バス・鉄道等の公共交通機関の充実	160	84	32	8	4	288	26	1252	4.35
	3	上水道の整備	171	59	43	8	5	286	28	1241	4.34
	4	下水道の整備	166	66	50	3	1	286	28	1251	4.37
	5	し尿やゴミの収集処理	169	74	37	5	2	287	27	1264	4.40
	6	住宅対策	97	74	100	9	2	282	32	1101	3.90
	7	公園や子どもの遊び場の整備	78	97	93	10	4	282	32	1081	3.83
	8	まちなみや周囲の風景（景観）	75	100	93	5	9	282	32	1073	3.80
福祉・医療	9	福祉施設	125	84	69	2	1	281	33	1173	4.17
	10	高齢者福祉サービス	145	76	58	3	1	283	31	1210	4.28
	11	障害者福祉サービス	124	67	87	0	1	279	35	1150	4.12
	12	病院・医療施設の充実	173	77	31	1	3	285	29	1271	4.46
	13	休日や夜間等の救急医療	180	68	35	0	3	286	28	1280	4.48
	14	健康づくり（検診等）	126	87	64	4	0	281	33	1178	4.19
	15	子育て支援	118	70	87	2	1	278	36	1136	4.09
暮らし	16	交通安全の取り組み	101	71	106	3	3	284	30	1116	3.93
	17	防犯対策	127	74	78	4	2	285	29	1175	4.12
	18	消防・防災対策	152	73	59	0	0	284	30	1229	4.33
	19	環境保全対策	102	83	97	1	1	284	30	1136	4.00
	20	地域活動・ボランティア活動への支援	63	92	119	8	2	284	30	1058	3.73
教育・文化・スポーツ	21	保育園・幼稚園	117	69	94	2	1	283	31	1148	4.06
	22	小中学校教育	130	59	91	2	0	282	32	1163	4.12
	23	生涯学習の振興	70	82	125	4	1	282	32	1062	3.77
	24	文化施設の整備や文化活動の振興	59	95	113	7	2	276	38	1030	3.73
	25	スポーツ施設の整備やスポーツ活動の振興	60	92	118	6	2	278	36	1036	3.73
	26	青少年の健全育成の推進	88	70	113	4	1	276	38	1068	3.87
	27	人権教育の啓発活動の推進	66	69	131	8	4	278	36	1019	3.67
	28	女性への支援（社会進出・活動）	74	83	109	8	2	276	38	1047	3.79
産業振興	29	農林水産業の振興	89	80	104	1	0	274	40	1079	3.94
	30	商工業の振興	92	80	98	3	0	273	41	1080	3.96
	31	観光の振興	105	84	79	4	4	276	38	1110	4.02
行政	32	行政の住民への対応	109	86	79	1	0	275	39	1128	4.10
	33	広報活動	82	83	109	1	2	277	37	1073	3.87
	34	行政への住民参加体制	72	72	130	2	1	277	37	1043	3.77
	35	経費の節減などの行財政改革	118	71	86	1	1	277	37	1135	4.10
	36	以上を総合的にふまえてふだんの暮らし	119	80	65	2	1	267	47	1115	4.18

以下に、「満足度」と「重要度」の各項目平均点を分布図として示す。



○ は「不満」の割合が高かった6項目、□は「重要」の割合が高かった6項目である。(既述の項参照)。

図の左上の領域は、住民が感じている重要度・不満度がともに全体の平均を上回っている分野を示す部分である。ここにプロットされ、かつ印が付けられた項目である「救急医療」、「病院」や「道路」は優先課題と考えられる。また、不満が最も高い「バス・鉄道」などに関する施策も優先的な課題と考えられる。

左上の領域には、上記4項目以外に「行財政改革」、「防犯」の2項目が入っている。

「下水道」には○と□の両方がマークされているが、不満度において意見が分かれているため全町的な課題とは言えないかもしれない。地域ごとの詳細な分析等が必要である。

問8-2 問8-1 であなたが重要と○をした項目のうち、これらの取組を進めていく上で特に重要だと思う項目があれば、その項目番号を記入し、具体的に取り組んでほしい施策や事業があればその内容を記入してください。（項目番号は3つまで）

特に重要だと思う施策は何かを質問したところ、既述の重要度・不満度分析の際に着目した項目以外に「保育園・幼稚園」「農林水産業」「観光の振興」が上位に入っている。

No.	特に重要だと思う項目	件数
2	バス・鉄道等の公共交通機関の充実	21
21	保育園・幼稚園	17
29	農林水産業の振興	16
31	観光の振興	14
1	道路の整備	13
35	経費の節減などの行財政改革	13
10	高齢者福祉サービス	9
22	小中学校教育	8
30	商工業の振興	7
12	病院・医療施設の充実	6
18	消防・防災対策	6
6	住宅対策	5
8	まちなみや周囲の風景（景観）	5
20	地域活動・ボランティア活動への支援	5
25	スポーツ施設の整備やスポーツ活動の振興	5
28	女性への支援（社会進出・活動）	5
4	下水道の整備	4
5	し尿やゴミの収集処理	4
7	公園や子どもの遊び場の整備	4
11	障害者福祉サービス	4
13	休日や夜間等の救急医療	4
24	文化施設の整備や文化活動の振興	4
26	青少年の健全育成の推進	4
3	上水道の整備	3
17	防犯対策	3
9	福祉施設	2
14	健康づくり（検診等）	2
15	子育て支援	2
19	環境保全対策	2
27	人権教育の啓発活動の推進	2
32	行政の住民への対応	2
36	以上を総合的にふまえてふだんの暮らし	2
34	行政への住民参加体制	1
16	交通安全の取り組み	0
23	生涯学習の振興	0
33	広報活動	0
37	無回答	220

回答者数=314人

※なお、「36 以上を総合的に踏まえてふだんの暮らしについて」の項目は満足度に関する質問項目であるが、町民の方々のご意見を幅広く確認するため本提言に記載した。各施策に対し記載があった提言内容は、項目ごとにすべて整理し以下にまとめた。

【問8-2 重要施策に係る提言一覧】

整理番号	項目番号	施策や事業の内容
1	29 農林水産業振興	さとやま対策、道の駅での販売強化。放棄地の利用。
	30 商工業振興	道の駅のパン屋を美味しくする。このパン屋目指してきてもらうような店にする。
	31 観光の振興	旅行目的が細分化しているのに対応。①町石道、トレイルランニング、②食事のための旅行、③料理教室（里山料理、高野料理のジャンル確立）
2	28 女性への支援	女性の外部活動、職業につくにしても、子供の食事、塾への送迎等、安心して預けられる仕組み
	31 観光の振興	町を活性化するための企画はよいが、その継続継承には人材育成と大きなビジョン（ゴールが見えない）
	35 行財政改革	経費の中でも、幼稚園、小・中学校の職員が生徒が少なく、統合して無駄を省く。必要な「モノ」には投入する。メリハリが大切と思う。
8	21 保育園・幼稚園	幼稚園・保育園を広い場所へ移設。道が狭く非常に行きにくい。
	31 観光の振興	一時期（大河放送中・後）は人も多かったが、明らかな観光客の減少がみられる。また、観光にきて消費場所が少ない。長期的な収入につながる観光施設等あれば。
	36 ふだんの暮らし	スーパーや商店の増加があれば、もっとくらしやすくなると思います。
9	22 小中学校教育	学校へ行けない子どもたちへの対応が薄すぎる。先生は頑張っって連絡をくれるが、根本的に対策案をもっていない。町の対応もゼロはおかしい。
10	5 し尿・ゴミ処理	ゴミ処理を町外に支援してもらっている状態に改善が必要。ゴミの収集時間が時々早すぎて間に合わない。オムツゴミや臭いのするゴミは捨てたい時に持ち込みで捨てられる場がほしい。ゴミの回収サイクルが長すぎるものがある。
	7 公園、遊び場	遊具が道の駅しかない。
15	2 バス・鉄道充実	買い物等の交通便の悪さ
16	18 消防・防災対策	東南海、南海地震の発生した場合の対策
17	10 高齢者福祉	誰もが年をとっていく現実と直面している。子どもに頼ることの出来ない事情のある高齢者の安心な老後住宅、グループホームなどを、もっと充実できれば安心。
	15 子育て支援	少子化問題に直面する九度山町！仕事、通勤、出産、子育て、教育、社会教育、老後を一生に通じる安心
	2 バス・鉄道充実	
	21 保育園・幼稚園	
	6 住宅対策	
7 公園、遊び場		
19	4 下水道の整備	下水道の工事費の家庭への負担を減らしてほしいです。

20	10 高齢者福祉	高齢化がどんどん進むし、また、合わせて誰もがいつか障害者になるかも知れない。他人事でなく明日は我が身として真剣に取り組んでください。
	11 障害者福祉	
	18 消防・防災対策	消防団員も若者減少で、いずれ足りなくなります。災害もいつ大きな被害にあうとも限りません。安心して住みやすい町作りをお願いします。
	27 人権教育の啓発	幼い時から人を思いやる教育を。まず、親（大人）が日頃の行いを言葉を手本を示していかなければ、子供は大人を見ている。
21	10 高齢者福祉	公共交通機関までたどりつけない方々が多く、第3の交通機関の充実をはかられたい。
	21 保育園・幼稚園	幼保一元化するべき。時代は保育所（幼稚園児の減少あっても教諭はへらず）
	35 行財政改革	定年退職後再雇用される職員がほとんどであるのに、新規採用も毎年あり、人件費がかさむ一方では？
23	18 消防・防災対策	消防団ですが、行事以外の活動は飲酒禁止にしてはどうですか？ムダです。
	22 小中学校教育	月に2回しか通学路に見守りで立っていないのですが、登下校時は毎日見守り隊の設置が必要だと思います。人手が足りないのなら無駄な町議にでもやってもらったら？
24	30 商工業振興	町内で働くところがない。そのため人口の減少に歯止めがきかない。
25	1 道路整備	道路が狭く、草がはえてきたら車（対向車）が見えない。
	30 商工業振興	家の近辺に商店がなく、買い物難民である。
	35 行財政改革	花火をあげる前に、高齢者のためにとくし丸みtainな車（販売）を定期的に走らせてほしい。
27	17 防犯対策	高野参詣大橋より、かつらぎ方面の街灯が少なく、子供の帰宅時には真っ暗で心配（特に冬場）。
28	24 文化施設・活動	世界遺産や真田に頼るのもよいが、リピーターの期待できるような施策が必要では。大収穫祭や、町屋のおひな様飾りや、アート展示など、現在やられている行事の継続もよろしくお願いします。
	29 農林水産業振興	高齢化、後継者不足による農業の存続が不安。
32	30 商工業振興	高学歴社会になった。卒業した学生は九度山町に職を求めても就職する企業がないため、若者は都会へ流れた。この状態では将来が不安です。
	36 ふだんの暮らし	少子高齢化が進み、町が衰退化した。
39	1 道路整備	町道が狭く危ないところがある。
	17 防犯対策	防犯のため、街灯を設置してほしい。
48	1 道路整備	人口を増やすため、住みやすい町づくり。
	2 バス・鉄道充実	
	3 上水道の整備	
	4 下水道の整備	
	5 し尿・ゴミ処理	
	6 住宅対策	若い世代が住める住宅地を大々的につくる。

50	1 道路整備	山間部の道路整備にもう少し力をいれてほしい。町中と山間の差がありすぎるように思う。
52	25 スポーツ施設・活動	スポーツ施設（ジム）の整備をしっかりとしてもらいたいです。
	35 行財政改革	経費の節減において議員数を考えていただきたいと思います。多すぎますよね。
53	29 農林水産業振興	特産である平核無、富有柿等の柿畑への灌漑設備（消毒用タンク等）と農道整備。
59	21 保育園・幼稚園	人（社会人）としてやってはいけないことをしている人が教育していないか？組織のためにworkする人でなく民（弱者）のための人材を！
	22 小中学校教育	
61	28 女性への支援	若者が働ける場所を作る。農業を組合組織にして若者が働く場所をつくる。
	30 商工業振興	
63	29 農林水産業振興	農林業の担い手対策、高齢化対策。農地の貸出、農産物の販路確保。付加価値の高い農産物の育成
	31 観光の振興	外部からの観光客受入継続するための体制の維持・向上。施設等の整備。
71	2 バス・鉄道充実	遊ぶところがないので、大阪に遊びに行くことが多いですが、終電が早く、運賃も高い（距離が長い）のでつらいです。公共交通の整備がほしいです。
76	12 病院・医療施設	病院施設の充実
77	29 農林水産業振興	柿農家です。町をあげて売り込みをお願いします。九度山の柿のアピールを。
78	2 バス・鉄道充実	これから高齢になり、自家用車の運転が困難になったとき、買い物や病院の通院などどうしたらよいか不安。
	21 保育園・幼稚園	保育園、幼稚園は統一すべき。
80	2 バス・鉄道充実	昔のように南海電鉄が難波まで直通運行するのは無理だというのは理解できる。しかし、橋本駅での乗り換えがもっとスムーズになるよう、南海に働きかけて実現させよ。大阪に通勤・通学する人が便利にならないと、町を出ていく人がさらに増え、ますます人口が減ってしまう。
	34 行政への住民参加	町議会で議員が一般質問、討論をするだけでなく、住民も直接意見を述べる場を設定すべき（ネットや投書でなく）
	9 福祉施設	これからはますます高齢化、一人暮らしの人が増える。これらにきめ細かく対応できる福祉施設、制度、人員を充実させていくべき。
81	22 小中学校教育	気の弱い生徒さんの入る学校として、募集努力をお願いします（河根小、中学校）。皆、河根ではやってゆけるようです。
83	32 行政の住民対応	町民第一に考え行動してほしい。
83	36 ぶだんの暮らし	何事にもお金をかけるわりに成果がでていない。

84	21 保育園・幼稚園	保育所・幼稚園の一元化（この小さな町で少ない子供数で2つの施設があるのは不自然）。町会議員、行政職員の人員削減。ゴミ収集も週1回でもOK。
	35 行財政改革	
	29 農林水産業振興	農業（柿）に従事する方の高齢化がすすみ、後継者が少ないという問題点に対して、早急に対策を講じる必要性を感じる。海外実習生の受入、柿の作り方のマニュアル化、労働軽減の機械化。
85	22 小中学校教育	少子化が問題と思いますが、町を愛する人たちが多くいることを望みます。
88	21 保育園・幼稚園	幼稚園の人数に対しての維持費
	29 農林水産業振興	後継者問題
90	16 交通安全	子どもが安全に暮らしていける町になってほしい。
91	2 バス・鉄道充実	どの町も高齢者が増え、車の運転が難しくなります。それで、朝夕1回ずつ位にマイクロバスを走らせてはどうでしょうか。買い物などに行きたいと思います。タクシー券では金額の負担が大きいです。
92	1 道路整備	道の草刈り。
	2 バス・鉄道充実	電車を便利にしてほしい。
93	25 スポーツ施設・活動	総合型地域スポーツクラブを設立し、廃校の体育館などの利用促進。高齢者向けの教室の拡大・拡充。子育て世代の運動習慣の確立。なぎなたの発展。
	26 青少年の育成	学校での特別教室（九度山の特性を活かす）。地域とのつながりの強化。文化、スポーツにもっと九度山町の特性を取り入れる。
	28 女性への支援	女性にかかわらず、年配の方がもっと前に出ていける活動の支援、及び機会の提供。
95	21 保育園・幼稚園	保育所の入所児童が多いのに幼稚園は人数が少ないようですが、一緒にしてこども園のように出来ないですか。経費も少なくてすむのと違いますか。
96	12 病院・医療施設	医療機関を最低数は九度山町内においてほしい。最近まであった歯科医がなくなり困っている人が増えている。足のある人は遠くでも行けても、電車でしか行けない人はとても不便で困っている。
100	10 高齢者福祉	福祉サービスですが、老人本人自体がどう利用していいのか理解できてない。
100	2 バス・鉄道充実	タクシーチケットはありがたいが、一人暮らしにして同居でも枚数が少なく思う。
100	31 観光の振興	九度山をもっとアピールしてほしい。宝は一杯あるのに。観光客が集まるように活性化。
101	1 道路整備	観光客が多いイベント時、商店街の道路が通りにくい。
101	2 バス・鉄道充実	高齢者が利用できる乗り合いバス。

102	12 病院・医療施設	健康年齢の長寿化を求めます。板書のかきうつしでなく、勉強のやりかたの伝授のできる教師を。習い事への補助金、たとえば勉強の塾代、スポ少の代金、ピアノ等。大阪市はやっている。
	13 救急医療	
	14 健康づくり	
	20 地域活動支援	
	21 保育園・幼稚園	
	17 防犯対策	人間に寄り添う行政と情報の収集。活用力のある人材（定年者の活用）。情報・諜報による情報量の蓄積と活用できる人材の登用。
	27 人権教育の啓発	
	28 女性への支援	
	30 商工業振興	
	3 上水道の整備	重要インフラに対する防災の用意。
	4 下水道の整備	
6 住宅対策		
103	20 地域活動支援	防災や整備も重要だが、山林の放置と、その一方で開拓に寂しさを覚える。
106	30 商工業振興	買い物をするとき、町外が多いので、町内に充実したところをつくってほしい。そうすれば働く場所も増え、人口も増えると思う。
107	31 観光の振興	花火がなくなったのは残念。スケールダウンして実施しては？
108	35 行財政改革	無駄な経費の使い方がみられる。予算は使い切るという考えでは無駄はなくなる。
113	2 バス・鉄道充実	高齢者の免許返納等、世間で問題になっているので、循環バス（車？）等あれば良いかなと思います。
	29 農林水産業振興	柿が特産だが、高齢化が著しいので、外国人研修生や若者に受け継ぐような教育プラン。
118	21 保育園・幼稚園	子どもを1日みてくれたら、もっと仕事につける。
125	29 農林水産業振興	農道の整備
138	33 広報活動	福祉に関する行政の取り組みについて、もっと住民に伝えてほしい。
139	11 障害者福祉	障害児（者）と健常児（者）が交流し、理解を深める場所（機会）づくり。障害児が学校卒業後、町内で働き自立に備える仕組み作り。
143	8 まちなみ	まちなみと歩く人たちの目を楽しくする色がほしい。
145	10 高齢者福祉	家庭に高齢者がいるが、他の家族は働きに出ているので、日中は1人で過ごしている。家に1人ではとても不安なので、預けるところがほしいが、お金がかかるため預けられないので、気軽に預けられるところを作ってほしい。
	2 バス・鉄道充実	家から駅が遠いので、車や単車等がないと町外へ出るのにとても不便なので、改善してほしい。
	35 行財政改革	経費の節減などの詳細をわかりやすく伝えてほしい。本当にプラスに働いているのかナゾです。

146	21 保育園・幼稚園	今の保育園は時間に厳しく働くママの味方ではないと感じます。入園の時にはたくさんの物を購入しなければならない、月々も請求が多い。延長保育の時間がない。もう少し親の負担の少ないように預けやすい保育園にしてほしい。毎週の荷物が多い。
	35 行財政改革	町税が高いとは聞かすが、その分これが良かったなどが特にない。ごみ袋も一軒で何枚と決められているため、一人暮らしでも大家族でも同じでおかしいと思う。
147	29 農林水産業振興	有害が多くなっているため、その対応
	31 観光の振興	宣伝が多い。
148	10 高齢者福祉	歳を重ねていく上での不安
	12 病院・医療施設	
	9 福祉施設	
149	22 小中学校教育	これからの日本（町）をささえる子供たちのため、色々な費用をけずっていただきたいです。
	35 行財政改革	毎月の配りものが1つの班につき4部ほどいつも余りますが、しかたないことでしょうか？
150	3 上水道の整備	上水道の整備強化をしてほしい。
	4 下水道の整備	下水道の整備強化をしてほしい。
152	19 環境保全対策	鳥獣害で柵をしても、中にはいり畑を荒らしております。また、私たちが住まいする地域西箱班では家の周りをうろうろしております。
	21 保育園・幼稚園	保育所の運動会で感じたのが、幼稚園児が10人ほどで運動会したこと耳にしましたので、保育所と幼稚園が一緒になれば、子供たちも喜ぶとおもうし、無理であれば、行事を合同でやったほうが楽しいと思います。
155	18 消防・防災対策	ハザードマップは見たことありますが、大きな台風や大雨がきたときに、どんな被害（川の水があふれるとか、隣の山が崩落してくるとか）に備えるべきか、具体的に口頭で教えてもらえればと思います。
	30 商工業振興	九度山の商工業を活性化できる方法があれば教えてほしいです。（私にはひらめかないので）
	6 住宅対策	空き家対策も必要ですが、町民の高齢化による畑や道路の雑草が大変なことになって、本来はその土地所有者が面する道路の手入れすべきだと思うのですが、高齢者にお願いするのも無理なので、その対策を町のほうで考えていただけたらと思います。
159	2 バス・鉄道充実	町内に消防自動車または救急車の搬入がスムーズにできることを願う。
	24 文化施設・活動	廃校の早期使用を願う。
161	1 道路整備	国道でありながら、道路溝の草がのびており、上の木の枝が道にかぶって、大型車との対向が怖いときがある。

165	18 消防・防災対策	共聴アンテナというシステムから都市部同様の通常のテレビ受信環境をもてるように、町から総務省へ働きかけること。他地域から引っ越してきた人は共聴の組合負担費に驚かされる。そもそも停電しなくてもアンテナがダメになると、その地区の何軒もの住民が情報手段を失う。
	22 小中学校教育	小中学校の教育水準を近隣自治体より引き上げることで、子育て世代の移住を増やせるのでは？生駒市など教育水準、教育環境のレベルアップにより、子育てしやすい都市となっているため。
	31 観光の振興	様々なイベントを年間何件もしても中途半端。もっと交通規制などすべき。(例、まちなかマルシェの時)
166	21 保育園・幼稚園	現在少子化と言われている大切な子どもたちに明るく伸びやかに育ててもらいたい。現在の保育園の環境は決して良いとはいえない。何とかしてほしい。
	24 文化施設・活動	子どもと住民が一体となって触れ合い、活動できる場があれば良いと思う。
	26 青少年の育成	日本を愛する正しい教育と食育がとても大切と思います。
167	31 観光の振興	南海高野下駅に宿泊施設ができました。この高野下駅から入郷の道の駅までに昔走ってたトロッコ道がありますが今は遊歩道になっていて、あまり人は通っていないように思いますが。この遊歩道を通るトロッコ電車を走らせてはどうでしょうか。竜王溪の美しい景色を見ながらのトロッコ電車の旅はいかがですか。
171	21 保育園・幼稚園	幼稚園の園児数が少ない。少人数でも良い所はたくさんあり、先生方も良い方ばかりで、とても質の良い教育を受けられて大満足なのですが、1クラスに園児がせめて5名はほしいです。未満児クラスができてから、橋本からも入園してくれていますが、年少のころになると、園外へいかれる方も多いため、なんとか増えてくれないかなと思います。幼児教育の無償化により、より保育所を選ばれる方も増えるのかなと。あと、幼稚園の先生方の人数を増員していただきたいです。余裕をもって教育にあたっていただきたいです(昨年ひまわり組で、娘がお手数をおかけしたので)。人数がかつかつな気がします。
	8 まちなみ	子どもの遊び場が少ない。遊べるような公園は道の駅にしかない。幼稚園や小学校が終わって放課後に友達と遊べる屋外・屋内の場がほしい。家の近所には子供がいないので、役場の近くなど、いろいろな地域から集まれる場所、車を駐車しやすい所がよい。
175	2 バス・鉄道充実	南海電車の橋本駅での乗り換えに待ち時間が長すぎるので、九度山駅から乗らなくなってしまっている。
	26 青少年の育成	未来をになう子どもたちの笑顔と笑い声が広がるふる里に。
	31 観光の振興	歴史誇れる街並みのたたずまいと美観がもっとほしい。そぞろ歩きが楽しくなる幸村の里・町に力をいれて。
177	19 環境保全対策	私有地(農地)に投棄物(電気製品や家庭用品の不用品)が放置しており、その前の道路にも多くのものが放置されています。
	29 農林水産業振興	本町は日本一の富有柿の産地で、食味が日本一であると思っています。
	31 観光の振興	世界遺産で町石道、慈尊院、丹生神社、九度山真田の観光地として多くの方が来町してくれます。

179	11 障害者福祉	高齢化率が高いのもあり、移動支援を充実させてほしい。シルバータクシーチケットは他町も好感を持っている。CMのような「おでかけ乗合タクシー」にも活かしたら良いと思う。乗合バスの代用としても使えたらどうかと思う。
	12 病院・医療施設	
	18 消防・防災対策	
	20 地域活動支援	
	28 女性への支援	介護や子育てで社会参加しにくい女性も多い。託児所、託老所など一時的にあずかってくれるものがあればいい。
182	31 観光の振興	休耕地、耕作放棄地等を利用した花畑、もみじ谷等、集客目的地作り。
183	10 高齢者福祉	不便な地域ほど、生協、移動販売、配達も何もなく、そこで高齢になっては住めなくなる。それから引っ越すよりは若いうちから便利なところで住むほうがいいので、若者が九度山に残るのは難しくなる。その意味でも、高齢になっても住みやすい対策が必要。
184	10 高齢者福祉	総合病院等の運営体制の強化（町外の病院へ振替等で継続してもらおう体制がない）。個人的福祉サービス体制では？
	11 障害者福祉	
	12 病院・医療施設	
	13 救急医療	
	21 保育園・幼稚園	
	22 小中学校教育	
	29 農林水産業振興	農林水産業の推進。近代化システムの開発。若者がもっともっと近代農業の推進。
186	32 行政の住民対応	税金の督促はすごく早いのに、こちらの頼み事は5年かかった。なぜ？住民課は戸籍謄本とか不要だったのに、払い戻さない。不親切、不説明。出している本人もわかっていない。困る。時間とお金の無駄。
	5 し尿・ゴミ処理	業者を選べない。なぜ1社だけ？橋本の業者に頼みたい。値段の基準が不明。説明がない。結構うるさい。困る。怖い。
	7 公園、遊び場	子育ては終わったが、子供に九度山に住んでほしくなかった。とにかく遊ぶ場所がない。子育てには不向きだ。
187	29 農林水産業振興	日本一といわれる富有柿を使った新商品の開発を。洋菓子、和菓子とコラボして、話題のある商品を開発し、PR。B級品の柿を捨てることなく、活用を考えてみては。
	31 観光の振興	九度山町は真田庵、慈尊院をはじめとする文化遺産に恵まれている。そして、自然に恵まれた町でハイキング、キャンプにと町外からお客さんを誘致できる条件がそろっている。リピーターを増やし、食べる場所、憩える場所を整え、町が町民で潤うような工夫を。
	4 下水道の整備	当地域は、すでに下水道の整備は完了していますが、まだ未加入の家庭があるので、できれば全戸加入の指導をして、衛生的で健康な村づくりを望みます。また、未整備地域の整備も重ねて期待します。
192	8 まちなみ	町中を歩いて回るイベントが行われているが、道沿いの住民の車が道にはみ出して路上駐車が多々されており、通行しにくく危険なため、取り締まりを強化すべき。

193	12 病院・医療施設	子どもが夜間に体調不良になったとき診てもらえるところが少ない。ほとんどなく不安。町内に医療機関の選択肢が少ない。
	13 救急医療	
195	21 保育園・幼稚園	保育園の場所が悪い。車を止める場所がない。保育園全員が同じところにすべき。大きい組は上の方にいかなくてはならず、危ない所にある。
201	2 バス・鉄道充実	九度山駅の学文路側への移動。
	35 行財政改革	観光に頼らない町作り。
	6 住宅対策	まとまった個数の平地の宅地開発。
203	2 バス・鉄道充実	南海電鉄において、平日の早朝時間の難波方面へのアクセスの悪さ。橋本駅での乗り換え時の待ち時間の悪さの時間短縮。
210	2 バス・鉄道充実	車の運転ができなくなったときに、交通機関がもう少し充実できたらいいなあと思います。
214	2 バス・鉄道充実	電車が走り駅も近くて良いと思いますが、買い物は紀の川を渡り高野口になります。他の町市はコミュニティバスが走っていますが、九度山町にはありません。タクシー等は高く、国民年金では運賃分しかなく、とても生活できません。片道100円～150円くらいで移動できるようにしてください。
228	10 高齢者福祉	町全体が高齢化していく中で、老人が閉じこもることなく公共機関で遠慮なくして移動できたら、住みやすくなるのではと思います。
	2 バス・鉄道充実	
	24 文化施設・活動	
	25 林・漁施設・活動	
	26 青少年の育成	年老いても自分の趣味やできることを生き生きとできる生活が良いと思う。
246	35 行財政改革	九度山町と他の市町村のやり方方法（仕事の）を比較検討することにより、節減や住民に対するサービス向上ができる。すべて現状分析（確認）を細かく比較することから始めてください。
250	31 観光の振興	普段住んでいる私たちは気づかない魅力でも、観光客の方からSNS等で発信して思わぬ人気スポットになる例もある。そういうところを発見して紹介することに力を入れてほしい。
264	7 公園、遊び場	子どもの遊び場が充実していれば、子供を持つ親が遠くまでいなくても近くで遊べる場所で楽しめるから。
267	1 道路整備	高野山への道路整備または新設。歩道の整備。
271	15 子育て支援	自分自身も 20 歳を過ぎて、ゆくゆくは子供を授かることになりましたが、若い人たちが理解して満足いく決断ができるように、僕を含め町民にもっと具体的な声かけ、呼びかけをしたほうが良いと思います。
	2 バス・鉄道充実	財政的な問題もあるとは思いますが、町内の人が町外へ、町外の人が町内へというサイクルのためにも、交通の便を良くしてほしい。
	35 行財政改革	コンビニエンスストアや飲食店など作ってほしい施設も多くある中で、マイナスを出しているのに続いている店や施設、客や町民の意見があまり反映されていないようなので、今一度町を見なおしてほしい。
277	29 農林水産業振興	害獣とされる鹿、猪等のと殺の仕方はあまりに残酷ゆえ、安楽死等の方法がとれないか。

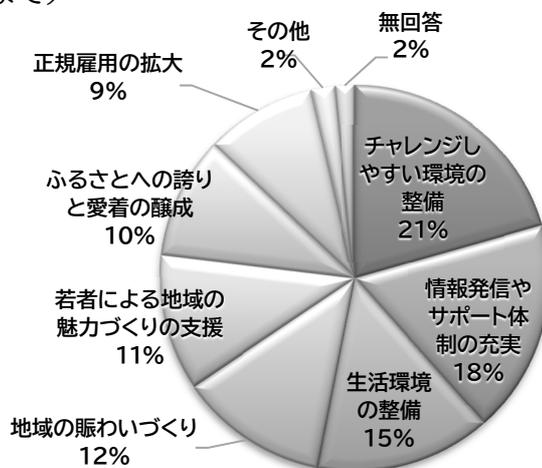
284	25 林・施設・活動	テニスコート、体育館はあるが、サッカーをする場所がない（サッカーに力をいれていない）。橋本市のスポ少の減免申請が使えない（体育館など）。
290	5 し尿・ゴミ処理	粗大ごみを車で処分してもらえる行政サービスがあればよいと思う。軽トラ1車（有料）で処分サービス、橋本市がしているのがうらやましい。
306	2 バス・鉄道充実	車に乗るのが苦手なので、電車の本数を増やしたり、バスなどがあるといいなと思います。
307	1 道路整備	道路整備とともに、維持・管理に努めてほしい。
	29 農林水産業振興	農家が自立していけるよう、考えてほしい。
309	1 道路整備	ミュージアム周辺は広く新しくなりましたが、九度山地区および九度山駅周辺、中学校の通学路等の整備。
	8 まちなみ	空き家対策

5 人口減への対応について（問9）

問9 転出等による社会減への対策として、どのような取り組みに力を入れればよいと思いますか。（回答は3つまで）

対策	件数
チャレンジしやすい環境の整備	155
情報発信やサポート体制の充実	135
生活環境の整備	110
地域の賑わいづくり	94
若者による地域の魅力づくりの支援	86
ふるさとへの誇りと愛着の醸成	77
正規雇用の拡大	70
その他	15
無回答	12

回答者数 314 人



「その他」意見の抜粋

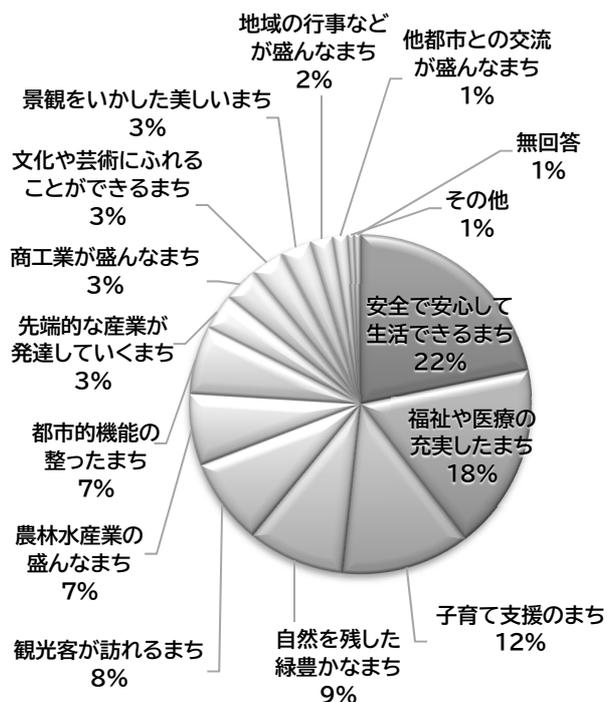
- ・農業でくらししていける方法を考える。 ・宅地の開発、病院・学校・企業の誘致
- ・医療面、福祉面のサポートの充実。子育て世代への支援。
- ・転出されないように、今住んでいる人に対するサポートが必要だと思う。

6 九度山町の将来像と行政サービス実施への協力度について（問10、問11）

問10 九度山町が将来どのようなまちになってほしいと思いますか。（回答は3つまで）

将来像	件数
安全で安心して生活できるまち	185
福祉や医療の充実したまち	151
子育て支援のまち	103
自然を残した緑豊かなまち	78
観光客が訪れるまち	70
農林水産業の盛んなまち	58
都市的機能の整ったまち	55
先端的な産業が発達していくまち	29
商工業が盛んなまち	28
文化や芸術にふれることができるまち	27
景観をいかした美しいまち	25
地域の行事などが盛んなまち	18
他都市との交流が盛んなまち	12
その他	5
無回答	5

回答者数 314 人



「その他」意見の抜粋

- ・若者には魅力ある、高齢者には安心して住める町。
- ・住みやすいまち、交通の便や巡回バス

過半数の人が「安全で安心して生活できるまち」(58.9%)を選んでいる。次いで、「福祉や医療の充実したまち」(48.1%)、「子育て支援のまち」(32.8%)が多い。

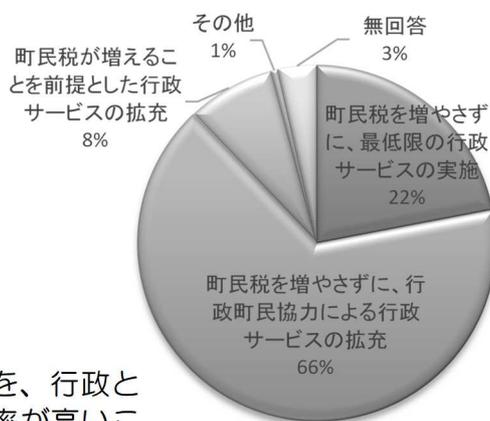
問11 将来像実現のため、必要な行政サービス（回答は1つ）

行政サービス	件数
町民税を増やさずに、最低限の行政サービスの実施	69
町民税を増やさずに、行政町民協力による行政サービスの拡充	207
町民税が増えることを前提とした行政サービスの拡充	25
その他	2
無回答	11

回答者数 314 人

税負担がない範囲での行政サービスの拡充を、行政と町民の協力により実現することを望む人の比率が高いことがうかがえる(65.9%)。

「その他」には、「町民税が増えてもいいので、行政、町民が協力して高齢者が住みやすい町にしてほしい。」という意見があった。



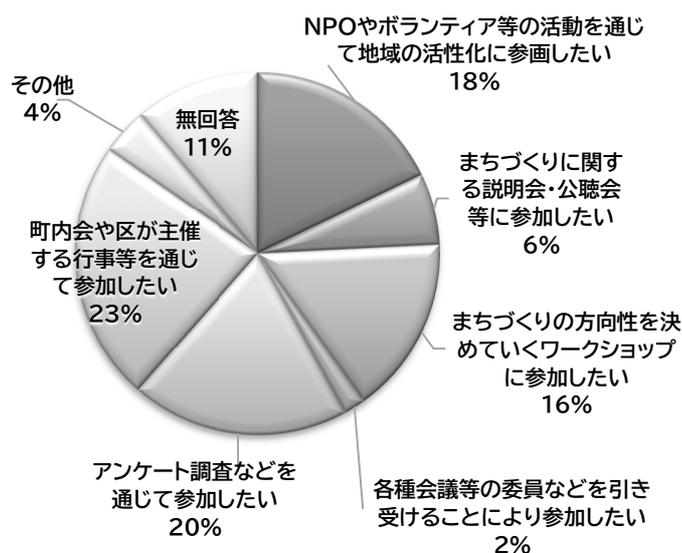
7 まちづくりへの参画について（問12）

問12-1 あなたが、今後、地域の活性化（商業の振興、まちづくりの推進、産業の活性化など）に参加するとしたら、どのような方法で参加したいと思いますか。（回答は1つ）

参加方法	件数
NPO やボランティア等の活動を通じて地域の活性化に参画したい	56
まちづくりに関する説明会・公聴会等に参加したい	20
まちづくりの方向性を決めていくワークショップに参加したい	50
各種会議等の委員などを引き受けることにより参加したい	6
アンケート調査などを通じて参加したい	61
町内会や区が主催する行事等を通じて参加したい	73
その他	13
無回答	35

回答者数 314 人

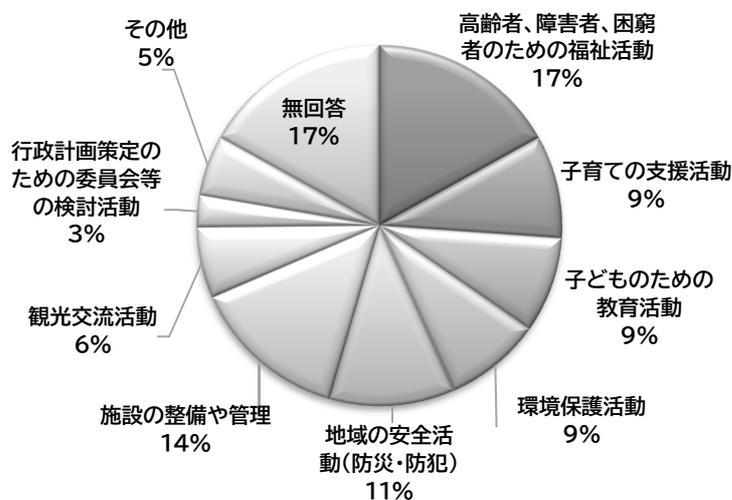
「町内会や区が主催する行事等を通じて参加したい」と答えた人が最も多く(23.2%)、次いで「アンケート調査などを通じて参加したい」(19.4%)である。「その他」の意見として「町民が納得できる行事なら参加も可能かも」というものがあった。



問12-2 その際、どのような分野で地域の活性化に参加したいと思いますか。
(回答は1つ)

参加分野	件数
高齢者、障害者、困窮者のための福祉活動	53
子育ての支援活動	29
子どものための教育活動	27
環境保護活動	27
地域の安全活動(防災・防犯)	35
施設の整備や管理	44
観光交流活動	20
行政計画策定のための委員会等の検討活動	9
その他	17
無回答	53

回答者数 314 人



「その他」意見の抜粋

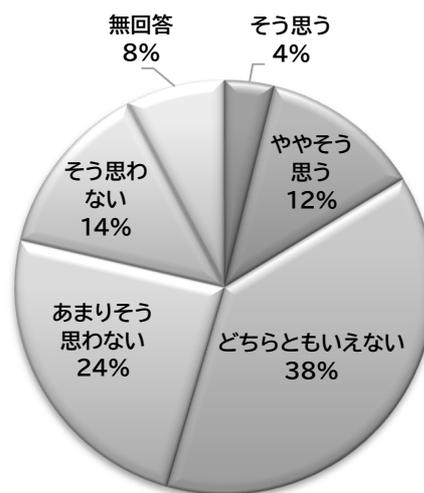
- ・産業振興
- ・地域共生に関する活動
- ・九度山の富有柿を地域団体商標とするため、頑張ります。

8 災害に強いまちづくりについて (問13)

問13-1 九度山町では、災害に強いまちづくりが進んでいると思いますか。
(回答は1つ)

意見	件数
そう思う	12
ややそう思う	39
どちらともいえない	120
あまりそう思わない	76
そう思わない	43
無回答	24

回答者数 314 人



番号	整理番号	1～5を選んだ理由
1 そう思う	18	毎年防災訓練を行い参加している。
	76	70年間、災害に遭遇していない。
	89	ため池などの整備が遅れている（一部だけが進んでいるように思う）。
	221	道路の整備が進んでいる。
	266	消防の方たちが火事の際は他地区でもただちに出勤して働いてくれていると思います。
2 やや思う	28	町、地域の連携による防災等。
	33	防災マップがあるから。
	50	役場と町民が協力しあって進んでいると思う。
	52	災害には熱心に取り組んでいただけていると思います。
	56	防災訓練や備蓄は充実していると思いますが、道路の整備の必要なところがあると思います。その部分も強化してほしいと思います。
	67	危険個所の整備が進んでいると思う。
	103	平野部に対してはそう思うが、町大部分の山間部においてはそう思わない。
	122	町内放送が充実している。
	123	河川の増水災害による道路の整備など。
	124	地盤が強い。
	133	幸いにして、今まで災害等に出会うことがなかった。よって、災害に強い町づくりが進んでいることを願います。
	134	自分たちの町は自分たちで守るという防災意識をより高めるための取り組みを、子供の発達に即して学校教育の場や家庭でも学習を深めていければ素晴らしいと思われる。
	139	まだまだ緊急車両の入れる道のない地域がたくさんある。町なかの整備と並行して、山間部も進んでほしいです。
	160	役場の支援体制や備蓄品を備えているから。
	167	これまでに大きな災害には出くわしていないので、これまでの取り組みは良かったのだと思いますが、これからは想定外の災害が起こりうる可能性もあるので、そこをよく考えて今後の防災に取り組んでいただければと思います。
	177	台風や局部の大雨による川の水が増加することが多く、谷地で被害が出ています。紀の川の堤防の設置を早く進めてください。
	211	防災に対する予算を組んで対策がとられている。
252	道路の道幅がせまく感じていたが、少しずつでも広がって通りやすくなっていると思います。	
278	道路、橋等の整備が進み、災害発生時に孤立する危険が低下してきている。	

2 やや思う	307	班会などで防災の話がでる。
	311	年々、努力されているなあと思います。美しく丈夫そうに整備されている感じがあります。
	314	台風や地震などで壊滅的な状況にはなっていない。
3 どちらとも	8	あまり防災に対する整備をみないが、特別危険だなと思う場所もない。
	9	九度山町の立地条件が、高い場所で水害に強いとか、岩盤なので地震に強いとか恵まれているが、空き家などが多く、避難場所へ行く通路の安全が見込めていない。
	22	どういった取り組みをしているのかを、よく知らないから。
	34	特に実感がない。
	41	良くも悪くもないと思うから。
	43	あまり変わらない。
	44	あまりそのような情報を聞かないから。
	55	防災マップなどがところどころにあれば良いと思う。
	62	整備されていない道路等。
	63	具体的事例を知らないため。
	64	災害が起きたとき、すぐ役場の人に来てくれますが、後の工事にかかるのが遅いと思います。
	71	ここ数年で甚大な災害を経験していないため、基準がわからない。
	81	九度山町はのんびり優しい町で、何事も平和で災害など河根へ来る道（赤出→の）だけが山崩れがある（災害）ように思います。
	82	現在住んでいる地域によって、災害の条件がそれぞれ違ってくると思います。その地域にあった町づくりを進めるべきだと思います。
	88	九度山町が具体的にどのような対策をしているのかよくわからない。たとえば、災害の時のための用意（食品、トイレ、毛布 etc）の情報などまったく知らない。
	92	地形が危険。
	102	私の地区は土砂崩れ。崩落後に残ったと思われる地区で、何も調査がなされてない。
	116	活動が見えない。
	117	震災など大きな災害にあってないので。
	130	河川の増水による被害。
132	何をしているかわからないから。	
137	おかげさまで災害は少なくなりましたが、気になるのは紀の川が増水、山間部の方の災害時の対処の仕方等、高齢化が進んでいるので心配。	
140	実情を十分に理解していないから。	

3 どちらとも	141	今のところ大きな災害に幸い見舞われていないため、よくわからない。
	142	災害がおこりそうなところがたくさんあると思う。
	145	自分の家の近所は災害が起きたときに危険だと思うから。近所以外のことはよく知らないから。
	149	入郷には池がいくつかありますが、もし堤が切れた場合が不安。家の二階、天井に物が多すぎ。そのように細かい注意事項を一度集まり教えてほしい。
	156	幸いなことに他所に比べると災害が少ないので。実感としては少ないが、今後考えないと思います。
	157	災害時等の情報伝達がうまくいっていない。災害時の避難の訓練等、まだ一度も行っていないのではないかと思います。
	162	町の中心部分の開発。
	164	具体的にわからない。
	166	災害について町からの取り組みがわからない。
	168	椎出地区の場合、避難場所が危険場所で急な坂道があるため、老人、障害者には困難だと思う。
	171	昨年の台風での停電や丹生川の増水など、色々被害がでましたが、木や川など自然が多いところなので、整備に力を入れすぎると自然もそこなわれるだろうし、難しいなと思ったからです。
	176	自然豊かな環境のもと、山や川が身近にあり、強い台風襲来時など、災害発生の可能性は常にあると思うから、素人の見解としては判断が付きません。
	182	農業用ため池の整備が遅れていると思う。
	190	自主防災会などがまだ充実していないため。
	193	道の整備など進んでいるが、災害時の避難場所が古くて安全と思えない建物もある。町内放送していただいている良いと思う。
	217	何をやっているのかあまりわからない。
	230	こちらに住むようになり、現在までのところ大きな災害にあったことがないですが、山間部の多い町ですので、地震などの災害にあうと孤立してしまうように感じられます。
	245	最近では想定外の災害が多いので、平生から最強の準備をしても自然界の力には勝てない。
	250	道路の改修等は進んでいるが、大規模災害時のインフラ整備はまだ弱いと思う。
	258	どうしているのかわからない。
264	特に災害対策等をおこなっていることを知らない。	
268	九度山町に住んで、今までは災害らしい災害にあっていないため、実際に被害にあった場合の現状がわからないため。	

3 どちらとも	271	声かけや呼びかけ、広報などでしているのだとは思いますが、具体的にどのような事をされているのか見えていません。山や川の近くに住んでいらっしゃる方々等への対応は大丈夫なのでしょう。
	286	印象として、観光面への力のいれようが大きい。実際はわかりにくい。
	296	台風など、天災がやってきたとき、上古沢駅などが壊れたなど、人事とは思わなかった。いろいろなことを思うと、まちづくりが進んでいるとは思われない。
	299	台風の際、倒木などによる道路の通行障害や停電の復旧に時間がかかる。
	305	特に大きな災害にならずに過ごせているが、今後いつ何が起こるかかわからないので、地域の人々と協力しあえるよう、ボランティア活動等を活性化が大切。
4 あまり	1	始めから災害に強いところに住んでいると思う。
	4	地域性のこともあり、まずは道路（土砂崩れの危険がある場所）を見なおしていただきたい。
	5	危険な場所がいたるところにあり、ここ最近でも停電や土砂災害など不安な要素が多々あり、その具体的方策が見えない。
	10	各地区ごとに非常食、水、簡易トイレ等、必要なものが備えられていない。九度山で避難が必要になる事象が何かあるかわからない。
	21	防災課の普段の活動がみえてこない（数年前の浸水家屋で指揮する立場の職員が、Yシャツ、革靴では意識が低いと感じた）
	27	ハザードマップを見ると、たくさんの危険な場所があるが、何か対策をしているように見受けられない。堤防など。
	39	1本の道路に頼っている。地すべりがおこりそう。
	53	災害時に高齢者（一人暮らし）や障害者への支援体制や農業用ため池の放置。
	61	情報が入ってこないため。
	66	住宅より上の場所にため池があり、十分な管理がされていないため、土砂災害が怖い。
	69	水不足。橋が多いため、逃げ場がない。
	78	川があり道も狭く、小学校も地すべりの問題がある。
	79	幸いにして災害が発生していないので実感がない。
	80	仕方ないことかもしれないが、何か災害がおきて初めて対策がなされている。
	84	一部の地域を除いて洪水の心配もなし、津波の心配なし、台風とかであまり被害を受けたこともなく（農業への影響はあったが）今まで、天災の被害が少なかったことから、災害に対しての危機感が薄いと思う。
85	しばらくそのように感じることはない。	

4 あまり	87	昨年の台風で4日近くの停電があり、道路の側の雑木の被害（倒木）がある場所がたくさんあり。
	91	災害のところもなかなか見に来てくれないし、予算の都合とかばかりで直してくれません。
	93	私自身の意識が低いこと。
	101	災害対策としてどんな活動をしているか知らないため。
	105	居住している場所が山の斜面のそばで、雨が降ると不安である。
	108	緊急避難場所の安全確保が完全ではないように思う。
	113	小学校、中学校は耐震工事を行われているが、山奥の古い民家には耐震の対策がたてられているようには感じない。また、崩れやすい場所など注意すべき場所がどこなのかわからない。
	129	町内のハザードマップの通り、危険（倒木）箇所多く、災害時生活道路が通行止めになりやすい。
	144	広報などに災害についてのPRが少ないように思う。
	155	私は災害対策活動されている姿を見たことがないの。
	161	国道上であっても、木が大きくかぶってきていて、倒木があった場合、通行が困難になるかも。
	163	川を渡って地域の避難場所へ行くことが出来ない(橋が通れないとき)。
	165	共聴アンテナをやめて通常受信にすべき。町道に異常がないか町職員が定期的に見回るべき（自己都合で道の排水穴など勝手にふさぐ畑の持ち主とかいる噂を聞く）。
	174	目に見えた取り組みが何も見えない。
	178	空き家も多く、お年寄りも多い中、火事などあれば密集している町中ではあぶないかと思います。
	179	地区の避難訓練の参加者が少なく、皆あまり関心がないというのか、意識が低いように感じる。意識づけができるような取り組みが必要だと思う。ただし、高齢者や障害のある人は訓練に参加しにくいとは思う。だからこそ、いざという時に備えたほうがいい。
184	行政に予算も金もない。本当に人材、設備、支援体制（消防団含めて）。災害等の監視設備もなく、災害発生の予測すらできない。自己防災体制の訓練等、日常的に地区別に強化予算を組み、徹底する。	
186	ハザードマップは最近見ましたが、川が怖い。流れが急で深い。家の場所は平地ですが、上の家とか坂の上の家とかが落ちて来そうで不安。電柱も根本がむき出しで、強風の時不安。一度強風で屋根、ガレージの屋根、破損しました。ゲートボール場の色々なものは台風が来るときの前日まで遊んでいるのに、テントとか片付けてほしいし、椅子も片付けてほしい。飛んでくる。いつも恐怖。	
187	昭和28年の水害を思いだす。今、日本全国で台風が猛威をふるっている。28年の水害の経験から、小さなそして急流の多い河川に流れ出る倒木が川をせきとめ、大きな被害をもたらした。テレビで報道される台風被害で映し出される倒木。脅威。町内の川にも倒木がいっぱいあります。	

4 あまり	191	将来的な計画が策定されていないように思います。
	194	道が狭いし、坂道が多い。避難場所がない。
	201	山間部の道路など。
	202	道路が1本しかないところがある。その道がダメになると孤立するから。
	203	その情報が少ない。
	204	町内でも田舎のほうは進んでいるとは思えない。
	212	これまであまり大きな災害に会うことがなかった環境のため。
	223	丹生川の護岸の整備。台風19号等災害地が思い浮かぶ。
	228	広報活動など、あまり耳にはいってこない。
	237	周りに山や川が多く、台風などのせいで交通規制がかかったり、土砂崩れなどがすぐ起きるが、元々の環境のせいなので、多少は仕方ないと思う。
	243	大雨で崩れたところがあります。
	251	そういう話を聞かない。
	259	火事が発生したときに、すぐかけつけて消火活動を始めてほしいので、消防署をもう少し所々にあればいいと思う。
	260	災害に対する施策が進んでいると身近で感じられない。
	261	保育園、幼稚園、小学校が地すべり区域にあるということについて、町はどのように考えているのか？（子供たちのあり方を考えてほしい）。
	267	ため池対策などは何もされていないように思う。
	269	普段の生活では実感する機会が少ないため。
	272	現在、町営住宅に住んでいるが、古くなってきたので、雨がふるたびに天井に音がして、いつまで住めるかわからないので、よその町に移りたい。
	274	生活道路が少ない。
	275	防災訓練などがあまりされていないように思うから。道幅が狭く、災害が起きたとき、消防車や救急車が通りにくい。
279	不便な場所が多い。	
306	どこに避難すればいいのかわからないから。	
309	紀の川左岸の堤防工事の進捗、山間部の土砂災害対策。	
313	土砂崩れ等が多く、停電や道路の復旧が大変でなおるまでが不便。	
5 そう 思わない	2	自然災害が多く、突発対応に終始している。予防・未然防止・意見には緊急・重要度で判断しにいく現状？
	12	台風がくるたびに避難してるから（川の増水）
	17	つぶれかけた廃家屋をかたづけてほしい。地震などで必ずつぶれる。近所（通学路）に倒壊家屋がある。

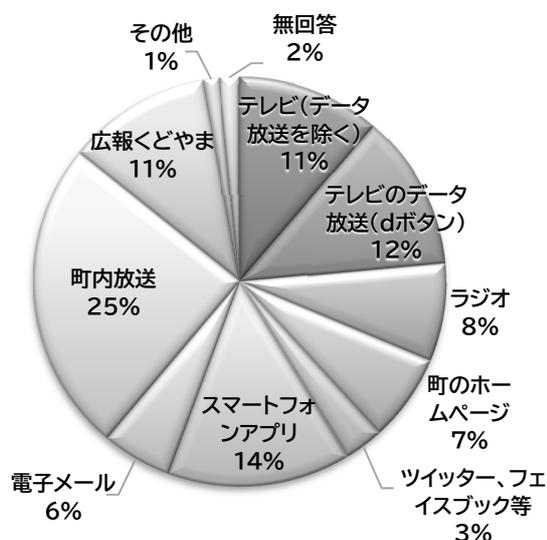
5 そう 思わない	23	椎出から奥の方ですが、土砂災害対策は行っていますか？災害が起こった際、対応できますか？
	25	防災訓練を行っているが、他に比べ、高齢者が多いのに、冷暖完備のない体育館での話は聞くにたえない。
	48	町全体の防災訓練を毎年するべき。
	49	災害発生時に対応するだけで、まちづくりは進んでいないと思う。
	72	道幅が狭いところがあったり、古い建物等もあるから。
	83	観光に対する道路の整備はしているが、防災等の災害に関する整備・取組をしているのを見たことがない。
	94	防災無線も聞こえるところと聞こえないところがあり、何を言ってるかもわかりにくい。しかも、雨でも降っていればもっと聞こえない。各地区にも避難場所の看板もないし、年配の方なんかはもっと不安だと思います。携帯をもっていない方もいるので、益々不安ではないでしょうか。
	135	私の住むところは、冬は水がとまる。悪天候ではすぐ停電。その都度九度山がいやになる。
	146	これといって何を対策しているのか知らない。
	159	早期の避難場所の再確認（この場所でいいのか？）。心配しております。
	173	どこまでの地域を災害をカバーできるのかわからない。どの災害に強くするのかかわからない。
	180	河根、丹生川方面への川沿いの道は、大雨や台風のために通行不可にならないかとビクビクする。避難場所への移動が危険と感じられるところがある。具体的な中山間部の高齢者への災害時の救援計画、対策等は作られているか？
	183	自分の住んでいる地域の防災の役員すら知らない。中心となる人が誰かすら周知されていない。
	188	町内会や区が主催する行事の話し合いがない。
	189	昨年、長時間停電した。
	192	避難場所に指定されているところが、地域でもっとも危険な場所で、行くまでの道中も危険なため、死ににいくようなものだ。
	214	早期の堤防設置。長年放棄された空き家の処理。そして路地の拡大。
	220	車が通る道が狭すぎる。1台通るのがぎりぎりの道が多い。町の中の道をもっと整備すべきだと思います。救急車、消防車も入りにくい道が多すぎる。
227	家への道路拡張や道路充実。	
231	ため池等が多く、今にも崩れそうな崖の下に保育園や小学校がある。	
240	私の家は川のそばにあり、いつも台風がくると川の水が道に上がり、また、溢れそうになり、怖くて夜は眠れません。そして3年ほど前、国道に上がりもう少し雨がふれば家がつかるころでした。川のそばの人々は避難した（安心して家でいたい）。	

5 そう 思わない	246	(例) 国道 370 号線以外で、九度山に行ける道路がない(災害時の対応ができない)。
	276	危ない坂道が多い。
	289	昨年、台風によって電柱が倒れ、停電が3日間続き、何の情報も得られなかった。
	293	自動車道路の事情が悪く、土砂崩れが発生したら、たちまち孤立する。
	297	地域的に避難所が危険区域となる可能性が高い箇所が多々ある。
	298	消防団がしっかりしていないから。

問13-2 災害・防災に関してどのような提供手段が充実すれば、あなたはふだんの生活の中で情報を得やすくなりますか（回答は3つまで）。

情報提供手段	件数
テレビ(データ放送を除く)	88
テレビのデータ放送(dボタン)	96
ラジオ	61
町のホームページ	54
ツイッター、フェイスブック等	24
スマートフォンアプリ	112
電子メール	43
町内放送	193
広報くどやま	89
その他	10
無回答	12

回答者数 314 人



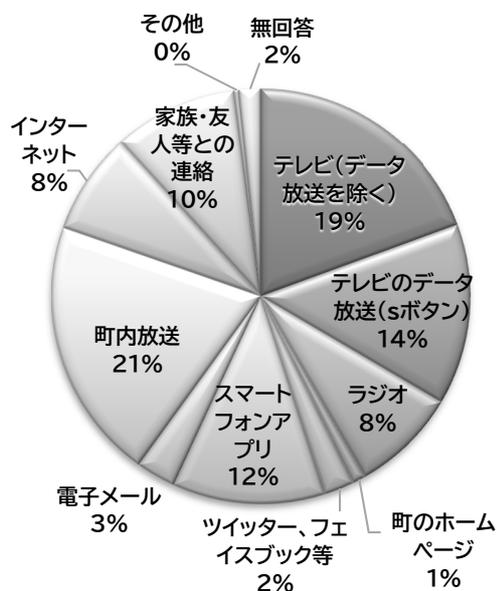
「その他」意見の抜粋

- ・各家庭に防災無線を設置（複数意見）
- ・山間部にしっかり届く防災ラジオ

問13-3 災害が発生したときや発生しそうなとき、あなたはどのような手段で情報を得ていますか（回答は3つまで）。

情報入手手段	件数
テレビ(データ放送を除く)	151
テレビのデータ放送(sボタン)	110
ラジオ	64
町のホームページ	8
ツイッター、フェイスブック等	18
スマートフォンアプリ	92
電子メール	24
町内放送	159
インターネット	62
家族・友人等との連絡	75
その他	3
無回答	13

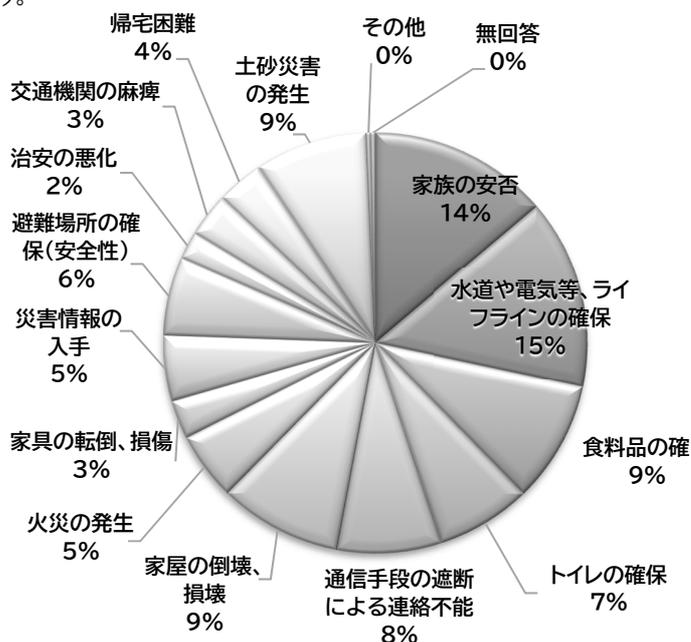
回答者数 314 人



問13-4 災害が発生したときに、特に心配することは何ですか（回答はいくつでも可）。

災害時に特に心配なこと	件数
家族の安否	240
水道や電気等、ライフラインの確保	254
食料品の確保	164
トイレの確保	126
通信手段の遮断による連絡不能	139
家屋の倒壊、損壊	164
火災の発生	91
家具の転倒、損傷	52
災害情報の入手	88
避難場所の確保(安全性)	105
治安の悪化	37
交通機関の麻痺	59
帰宅困難	63
土砂災害の発生	150
その他	6
無回答	6

回答者数 314 人



「その他」意見の抜粋

- 道路が通れるか
- 道路の遮断による孤立
- 乳幼児、高齢者対応
- ため池